

# DEEPPREAD 利用マニュアル

2024年9月30日版

DEEPPREAD

“人工知能で、手書きを瞬時にテキスト化”

3万件以上のデータをもとに最高クラスの精度を実現。



株式会社 EduLab

## 改訂履歴

改訂日付 (版) <sup>1</sup>	改訂内容
2022 年 3 月 23 日版	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1.3 「お問い合わせ先」に製品 URL 追記</li> <li>・ 6.5 「丸囲み・チェックボックスの設定 2 (グルーピング設定)」、6.9 「読取形式のカスタマイズ (日付・時刻)」、6.10 「読取形式の選択 (日付/電話番号)」追加、6.8 「ユーザカスタム辞書」に「強めの補正」追記</li> <li>・ 6.12 「マルチページ PDF 設定」と 6.13 「テンプレートの利用権限」の順序入れ替え</li> <li>・ 10.1 「読取文字モデル別対応表」更新</li> </ul>
2022 年 5 月 10 日版	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6.9 「正規表現」追加</li> <li>・ 10.1 「読取文字モデル別対応表」更新</li> <li>・ 軽微な修正</li> </ul>
2022 年 7 月 20 日版	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2.1 「推奨ブラウザ」更新</li> <li>・ GUI の更新に伴う各イメージと内容更新</li> <li>・ 6.6 「認識パターンの設定」と 6.8 「ユーザカスタム辞書」の順序入れ替え、6.7 「変換処理」と 6.9 「正規表現」の順序入れ替え、6.9 「削除領域の設定」追加</li> <li>・ 6.1 「テンプレート画像」、7.1 「読取画像」更新、6.14 「マルチページ PDF 設定」を 6.14 「複数ページの設定」に変更及び内容更新</li> <li>・ ボタン名を太字に変更</li> <li>・ 10.1 「読取文字モデル別対応表」更新</li> <li>・ タイトル等を含む軽微な修正</li> </ul>
2023 年 2 月 28 日版	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6.4 「AI 自動確認」追加</li> <li>・ 6.6 「丸囲み・チェックボックスの設定 2 (グルーピング設定)」に丸囲みの値、チェックボックスの値の補足追記</li> <li>・ 6.16 「テンプレートの利用権限」に「テンプレートの公開/共有の切り替え機能」、「テンプレートの置き換え機能」追加</li> <li>・ 9.3 「複数テンプレートの読取結果」にアンマッチ時の出力例を追加</li> <li>・ 10.1 「読取文字モデル別対応表」更新 (英数字モデル削除)</li> </ul>

<sup>1</sup> 2022 年 3 月 23 日版より改訂履歴記載

2023年8月30日版	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6.2「テンプレート作成」を 6.2「テンプレート作成（定型帳票：読取座標を設定する場合）」に変更</li> <li>・ 3.2「読取対象帳票」、3.3「定型帳票／非定型帳票の利用」、6.3「テンプレート作成（非定型帳票：読取座標を設定しない場合）」、6.16「背景色の除去」追加</li> <li>・ 6.19「テンプレート画像の置き換え」追加し 6.18「テンプレートの利用権限」の内容を移動</li> <li>・ 6.1「テンプレート画像」、6.5「AI自動確認」、6.18「テンプレートの利用権限」更新</li> <li>・ 軽微な修正</li> </ul>
2023年9月7日版	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3.4「確信度の利用」、6.16「バーコードの読取」、6.22「確信度閾値の設定」、8.5「読取結果の表示変更」追加</li> <li>・ 6.5「AI自動確認」、6.6「丸囲み・チェックボックスの設定1（個別設定）」、6.7「丸囲み・チェックボックスの設定2（グルーピング設定）」、8.2「読取結果の確認・補正」、8.3「複数テンプレートの読取結果の確認・補正」、8.4「複数ページの読取結果の確認・補正」更新</li> <li>・ 10.1「読取文字モデル別対応表」更新</li> <li>・ 軽微な修正</li> </ul>
2024年4月10日版	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1.3「お問い合わせ先」更新（本社移転）</li> <li>・ 2.2「DEEP READ 製品」追加</li> <li>・ 6.16「QRコードの読取」を 6.16「バーコードの読取」に変更及び一次元バーコードの内容追記</li> <li>・ 6.17「表の読取」追加</li> <li>・ 10.1「読取文字モデル別対応表」更新</li> <li>・ 軽微な修正</li> </ul>
2024年9月30日版	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6.5「プレビュー表示（認識結果の事前確認）」、8.2「タスク一覧」、9.2「タスク一覧」、9.5「全文の読取結果の出力」追加</li> <li>・ 2.2「DEEP READ 製品」、3.1「利用の流れ」、3.4「確信度の利用」、6.1「テンプレート画像」、7.1「読取画像」、7.2「タスク作成」、7.4「複数テンプレートのタスク作成・実行」、8.1「読取画像」、9.1「読取画像」更新</li> <li>・ 3.3「定型帳票／非定型帳票の利用」を 3.3「定型帳票／非定型帳票の読取内容」に変更及び全文読み取りの内容追記、3.4「定型帳票／非定型帳票の利用」追加</li> </ul>

- |  |  |
|--|--|
|  | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 7.2 「タスク作成」を 7.2 「タスク作成・実行」に変更</li><li>・ 7.3 「タスクの実行」と 7.4 「複数テンプレートのタスク作成・実行」の順序入れ替え及び 7.4 「タスクの実行」更新、7.4 「全文読取のタスク作成・実行」追加</li><li>・ 軽微な修正</li></ul> |
|--|--|

## 内容

1.	はじめに	1
1.1.	本資料について	1
1.2.	注意事項	1
1.3.	お問い合わせ先	1
2.	前提条件	2
2.1.	推奨ブラウザ	2
2.2.	DEEP READ 製品	2
2.3.	ユーザ権限	3
3.	利用の流れ	4
3.1.	利用の流れ	4
3.2.	読取対象帳票	5
3.3.	定型帳票／非定型帳票の読取内容	5
3.4.	定型帳票／非定型帳票の利用	6
3.5.	確信度の利用	6
4.	ログイン	7
4.1.	ログイン URL	7
4.2.	ログイン手順	7
5.	フォルダ作成	8
5.1.	フォルダ作成	8
5.2.	テンプレートの移動	9
6.	テンプレート作成	10
6.1.	テンプレート画像	11
6.2.	テンプレート作成（定型帳票：読取座標を設定する場合）	12
6.3.	テンプレート作成（非定型帳票：読取座標を設定しない場合）	16
6.4.	操作ボタン	19
6.5.	プレビュー表示（認識結果の事前確認）	20
6.6.	AI 自動確認	23
6.7.	丸囲み・チェックボックスの設定 1（個別設定）	24
6.8.	丸囲み・チェックボックスの設定 2（グルーピング設定）	26
6.9.	ユーザカスタム辞書の設定	29
6.10.	正規表現の設定	32
6.11.	認識パターンの設定	34
6.12.	削除領域の設定	35
6.13.	出力時設定	36

6.14.	読取形式のカスタマイズ（日付・時刻） .....	37
6.15.	読取形式の選択（日付／電話番号） .....	38
6.16.	読取エリアの自動検出 .....	39
6.17.	バーコードの読取.....	41
6.18.	表の読取 .....	42
6.19.	背景色の除去 .....	45
6.20.	複数ページの設定 .....	46
6.21.	テンプレートの利用権限.....	47
6.22.	テンプレート画像の置き換え .....	50
6.23.	テンプレート設定ファイル（メタデータ）の利用.....	51
6.24.	確信度閾値の設定 .....	52
7.	タスク作成・実行 .....	53
7.1.	読取画像 .....	54
7.2.	タスク作成・実行.....	55
7.3.	複数テンプレートのタスク作成・実行.....	58
7.4.	全文読取のタスク作成・実行 .....	65
7.5.	タスクの実行.....	68
8.	認識結果の確認・補正 .....	71
8.1.	読取画像 .....	71
8.2.	タスク一覧 .....	72
8.3.	読取結果の確認・補正 .....	73
8.4.	複数テンプレートの読取結果の確認・補正 .....	77
8.5.	複数ページの読取結果の確認・補正 .....	79
8.6.	読取結果の表示変更.....	81
9.	出力結果のダウンロード .....	83
9.1.	読取画像 .....	83
9.2.	タスク一覧 .....	84
9.3.	読取結果の出力 .....	85
9.4.	複数テンプレートの読取結果の出力 .....	88
9.5.	全文の読取結果の出力 .....	90
10.	その他.....	92
10.1.	読取文字モデル別対応表.....	92
10.2.	各種設定方法 .....	93
10.3.	主なボタンの機能.....	96

## 1. はじめに

### 1.1. 本資料について

本資料は、株式会社 EduLab が提供する、AI を活用した手書き文字データ化サービス「DEEP READ」の WEB 上でのご利用方法をまとめた資料です。

本資料に沿って、「DEEP READ」のご利用を開始してください。

また、ご利用の際に何かご不明点等がありましたら、貴社を担当しております弊社の担当者までご連絡をお願い致します。

### 1.2. 注意事項

- ✓ 弊社担当者よりお知らせのある範囲内で、「DEEP READ」をご利用ください
- ✓ 「DEEP READ」ご利用の際に必要な、アカウント情報（パスワードを含む）については弊社担当者からお受け取りください
- ✓ ご利用者様による項目等の設定の仕方により、読取精度が変わることから、ご利用の際の読取精度は普遍的な値ではなく、さらなる向上が可能であることを十分にご理解の上、「DEEP READ」をご利用ください
- ✓ システムのアップデートに伴い、本資料の画面デザインと実際の画面等が異なる場合がありますが、基本的なご利用方法は本資料に記載の通りです

### 1.3. お問い合わせ先

株式会社 EduLab 事業推進室

〒108-0075 東京都港区港南 1-8-15 W ビル 13 階

TEL: 03-6897-3849

E-Mail: [sales@deepread.ai](mailto:sales@deepread.ai)



※トライアルのご利用も随時受け付けております。

製品 URL: <https://www.edulab-inc.com/deepread/jp>

## 2. 前提条件

### 2.1. 推奨ブラウザ

○	Google Chrome（最新版）
○	Mozilla Firefox（最新版）
○	Safari（最新版）
○	Microsoft Edge（最新版） ※Windows 10、11のみ

※最新版をご使用ください。

### 2.2. DEEP READ 製品

DEEP READ の製品分類と利用概要は以下の通りです。

読取帳票種類	定型帳票		非定型帳票	
	定型	帳票分類	非定型	全文
製品	定型	帳票分類	非定型	全文
利用者	DEEP READ 利用者全員		非定型読取利用者	全文読取利用者
利用方法	GUI/API			
出力形式	CSV			CSV、XML、JSON、PDF

※ 本資料は、GUI の操作（画面を利用した操作）手順を説明した資料です。

※ 読取対象帳票と読取内容については、3.2 及び 3.3 をご参照ください。

### 2.3. ユーザ権限

ご利用者の権限により利用できる機能は以下の通りです。

	スーパー管理者 <sup>※1</sup>	管理者	パワーユーザ	一般
テンプレート作成	○	○	○	×
テンプレート修正	○	○	○ <sup>※3</sup>	×
タスク作成	○	○	○ <sup>※2</sup>	○ <sup>※2</sup>
タスク確認	○	○	○ <sup>※2</sup>	○ <sup>※3</sup>

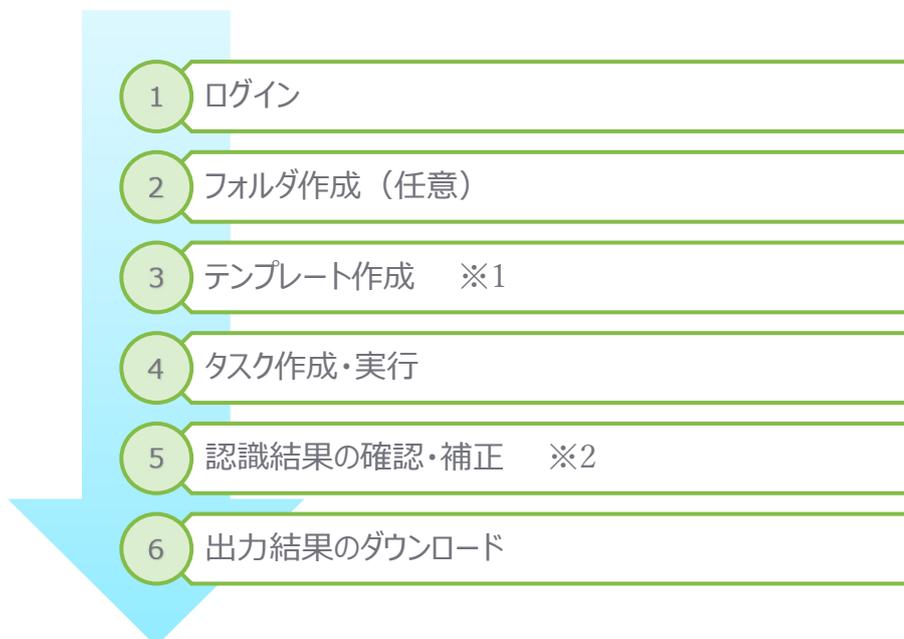
※1 スーパー管理者は BOX 連携機能の為の権限です。BOX 連携機能に関しましてはお問い合わせください。

※2 閲覧権限のあるテンプレート及びタスクのみ。テンプレートとタスクの制限の設定方法については 6.21 をご参照ください。但し、API タスクについては閲覧可。

※3 ユーザ自身が作成したテンプレート及びタスクのみ対象。

### 3. 利用の流れ

#### 3.1. 利用の流れ



※1 全文認識では、テンプレートの作成は不要です。

※2 全文認識では、画面上での認識結果の確認・補正はできません。

- ① 弊社担当者から受け取った、アカウント情報を利用して「DEEP READ」にログインします。
- ② テンプレートをまとめるフォルダを作成します。関連する複数のテンプレート毎にフォルダにまとめることができます。  
※フォルダを作成しなくても利用可能です。
- ③ 読取帳票の項目の組合せである「テンプレート」を設定します。読取対象ファイルに対して、このテンプレートの内容の読み取りを行います。
- ④ 「タスク」と呼ばれる単位で処理を作成します。同じテンプレートの複数枚（1枚～500MBまで）の読み取りを一度のタスクで処理することができます。
- ⑤ 認識結果を確認・補正することができます。
- ⑥ タスクが終了すると出力結果ファイルが作成されます。出力結果には読取画像ファイル名及びテンプレートで設定した項目が含まれます。

### 3.2. 読取対象帳票

「DEEP READ」の読取対象帳票は以下の通りです。

定型帳票	各項目の記載されている座標が固定の帳票（申込書など）
非定型帳票	記載項目、記載されている座標が固定でない帳票（請求書など）

※定型帳票の読取：「DEEP READ」ご利用者全員が利用可能です

※非定型帳票の読取：非定型読取、または、全文読取のご利用者のみ利用可能です

### 3.3. 定型帳票／非定型帳票の読取内容

定型帳票の読み取りと非定型帳票の読み取りの内容は以下の通りです。

帳票種類	製品	読取内容
定型帳票	定型	1種類（1ページ）の帳票読み取り ※1
		1種類（複数ページ）の帳票読み取り ※2
	帳票分類	複数種類（1ページ）の帳票の読み取り ※1、※3
非定型帳票	非定型	キーワード項目の読み取り ※4、※5 （※非定型読取のご利用者のみ利用可能です）
	全文	全文（テキスト）の読み取り （※全文読取のご利用者のみ利用可能です）

※1 テンプレートと同内容の複数の読取画像ファイルや複数ページの読取画像ファイルの読み取りが可能です

※2 テンプレートと異なるページ数の読取画像ファイルの読み取りはできません

※3 複数ページや非定型帳票のテンプレートは複数種類として設定できません

※4 キーワード項目を含む複数の読取画像ファイルや複数ページの読取画像ファイルの読み取りが可能です

※5 複数ページや複数種類のテンプレートは設定できません

### 3.4. 定型帳票／非定型帳票の利用

各読取内容に対するテンプレート作成方法、タスク作成・実行方法、認識結果の確認・補正方法の参照先は以下の通りです。

帳票種類	読取内容	テンプレート作成	タスク作成・実行	認識結果の確認・補正
定型帳票	1種類（1ページ）	6.2 参照	7.2 参照	8.3 参照
	1種類（複数ページ）	6.2、6.20 参照	7.2 参照	8.5 参照
	複数種類（1ページ）	6.2 参照	7.3 参照	8.4 参照
非定型帳票	キーワード項目	6.3 参照	7.2 参照	8.3 参照
	全文	不要 ※1	7.4 参照	不可 ※2

※1 全文の読み取りでは、テンプレートの作成は不要です。

※2 全文の読み取りでは、画面を利用した認識結果の確認・補正はできません（出力結果のダウンロードは可能です）。

### 3.5. 確信度の利用

「DEEP READ」は文字の認識結果とともに読み取った文字単位に確信度を出力することができます。確信度の値から出力された認識結果に対する確度を判断するための参考にすることができます。

※確信度は、読み取った元の文字と出力した文字（推定）の一致率です。「DEEP READ」がどの程度の確度で結果を出力したかを表します。

※非定型読取では確信度は出力されません。

※タスク作成時に確信度の出力有無を設定することができます（7.2、7.3 参照）。

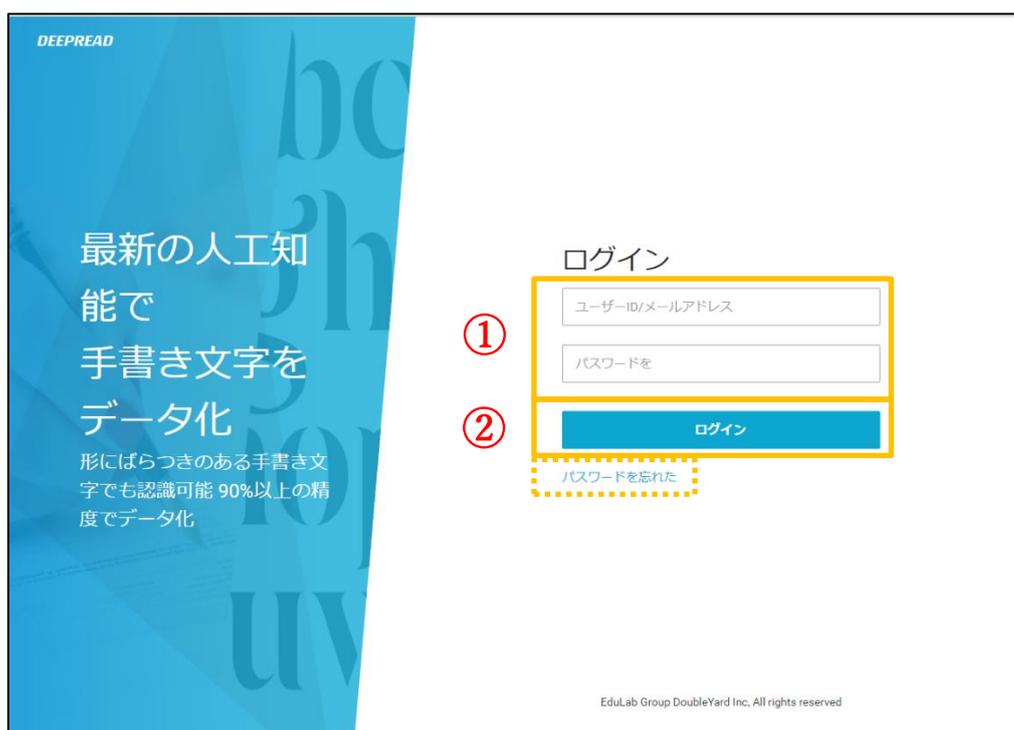
※読取結果の確認画面で確信度閾値により確認項目を分類して表示することができます（6.24、8.6 参照）。

## 4. ログイン

### 4.1. ログイン URL

DEEP READ URL	<a href="https://www.deepread.ai/#/login">https://www.deepread.ai/#/login</a>
---------------	---

### 4.2. ログイン手順



- ① 弊社担当者が、ご利用様のアカウント登録後にお伝えする情報を「DEEP READ」のログイン画面に入力します（「メールアドレス」と「パスワード」）。

#### 入力情報

メールアドレス
パスワード

- ② 「ログイン」をクリックして、ログインします。

※「パスワードを忘れた」：パスワードを忘れた場合は、ログイン画面の「パスワードを忘れた」からパスワードを再設定できます。

## 5. フォルダ作成

### 5.1. フォルダ作成

※フォルダは作成しなくてもテンプレート作成からご利用できます。



- ① 「+新規作成」から「フォルダ作成」を選択して「フォルダ作成」画面を表示します。
- ② フォルダ名を入力して、「保存」をクリックします。
- ③ テンプレート一覧画面に、「フォルダ」と作成したフォルダが作成されます。

## 5.2. テンプレートの移動



- ① 後章 6 のテンプレート作成後に、フォルダにまとめたいテンプレートを選択し「…」から選択項目を表示します。
- ② 「移動」を選択します。
- ③ 当該テンプレートを移動したいフォルダを選択します。
- ④ 「ここに移動」をクリックして、テンプレートをフォルダに移動します。

## 6. テンプレート作成

内容

基本の設定 ※1	
6.1	テンプレート画像
6.2 ※2	テンプレート作成（定型帳票：読取座標を設定する場合）
6.3 ※3	テンプレート作成（非定型帳票：読取座標を設定しない場合）
6.4	操作ボタン
6.5 ※2	プレビュー表示（認識結果の事前確認）
項目単位の設定	
6.6 ※2	AI 自動確認
6.7 ※2	丸囲み・チェックボックスの設定 1（個別設定）
6.8 ※2	丸囲み・チェックボックスの設定 2（グルーピング設定）
6.9 ※2	ユーザカスタム辞書の設定
6.10	正規表現の設定
6.11 ※2	認識パターンの設定
6.12 ※2	削除領域の設定
6.13	出力時設定
6.14 ※2	読取形式のカスタマイズ（日付・時刻）
6.15 ※2	読取形式の選択（日付／電話番号）
6.16 ※2	読取エリアの自動検出
6.17 ※2	バーコードの読取
6.18 ※3	表の読取
テンプレート単位の設定	
6.19 ※2	背景色の除去
6.20 ※2	複数ページの設定
6.21	テンプレートの利用権限
6.22 ※2	テンプレート画像の置き換え
6.23	テンプレート設定ファイル（メタデータ）の利用
6.24 ※2	確信度閾値の設定

※1：全文読取では、テンプレートの作成は不要です。

※2：非定型帳票のテンプレート作成（読取座標を設定しない場合）では利用できません。

※3：非定型読取をご利用の場合に利用できます。

## 6.1. テンプレート画像

定型帳票のテンプレート作成では、テンプレート画像として以下の形式の画像ファイルを設定できます（非定型帳票のテンプレート作成では、テンプレート画像は不要です）。

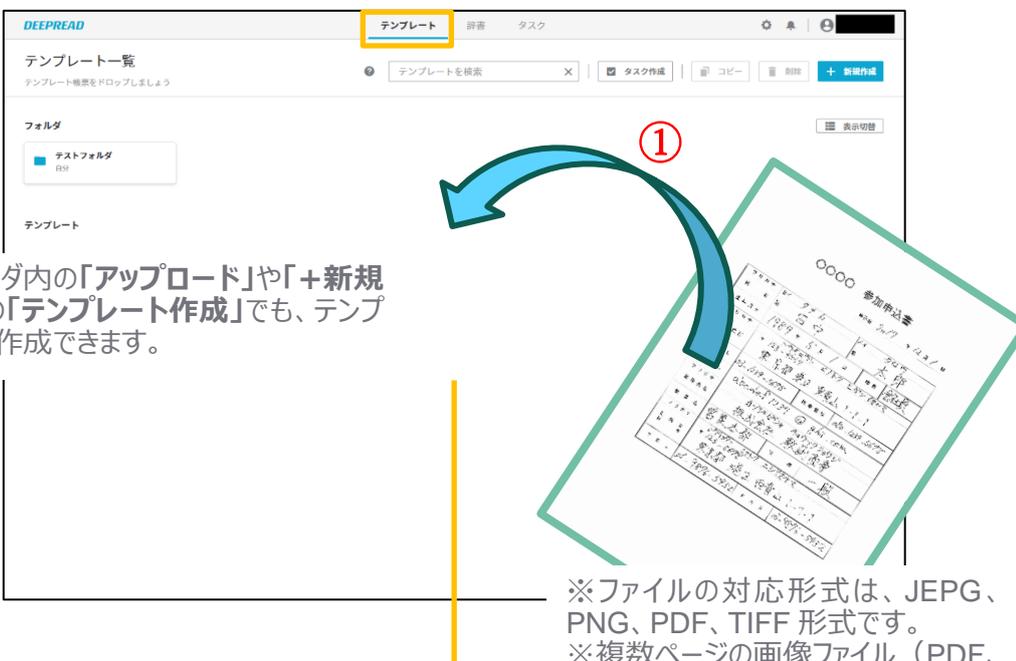
1 ページのテンプレート作成	JPEG、PNG、PDF、TIFF
複数ページのテンプレート作成（6.20 参照）	PDF、TIFF

※読み取り内容によるテンプレートの作成方法は以下をご参照ください。

帳票種類	読取内容	テンプレート作成	タスク作成・実行
定型帳票	1 種類（1 ページ）の読み取り（単票）	6.2 参照	7.2 参照
	1 種類（複数ページ）の読み取り（単票）	6.2、6.20 参照	7.2 参照
	複数種類（1 ページ）の読み取り（混在）	6.2 参照	7.3 参照
非定型帳票	キーワード項目の読み取り	6.3 参照	7.2 参照
	全文の読み取り	不要	7.4 参照

## 6.2. テンプレート作成（定型帳票：読取座標を設定する場合）

※DEEP READ 利用者全員が利用できます。



※フォルダ内の「アップロード」や「+新規作成」の「テンプレート作成」でも、テンプレートを作成できます。

※ファイルの対応形式は、JEPG、PNG、PDF、TIFF 形式です。  
※複数ページの画像ファイル（PDF、TIFF 形式）も設定できます。

**テンプレート作成**

記入前の書類をテンプレートとして設定します

②

テンプレート名

ファイルを選択 test.jpg

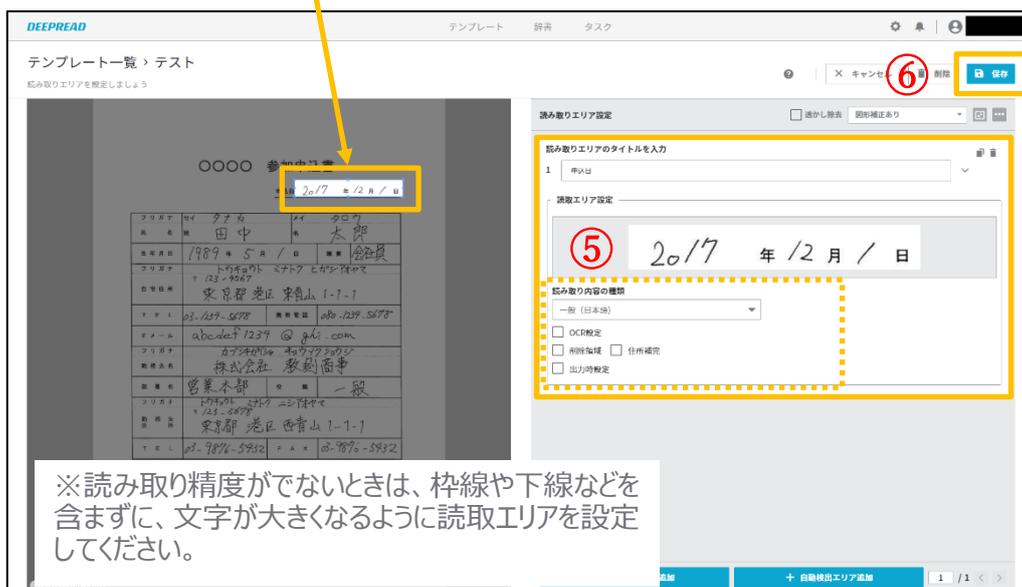
メタデータをインポート

公開する

キャンセル 保存



④



- ① テンプレート一覧画面に読取エリアを設定する書類画像をドロップして、テンプレート作成画面を表示します。
- ② ファイル名を確認し、テンプレート名を入力して「保存」をクリックします（非定型読取をご利用の場合は、「定型帳票」を選択します）。

※「**ファイルを選択**」：テンプレートを作成するファイルを指定することができます。  
※「**公開する**」：テンプレートの公開／非公開を設定できます（6.21 参照）。  
※「**メタデータのインポート**」：テンプレート設定ファイル（メタデータ）をインポートすることができます（6.23 参照）。  
※「**非定型帳票**」（非定型読取をご利用の場合のみ）：非定型帳票（読取座標を設定しない場合）を設定できます（6.3 参照）。

- ③ テンプレート作成画面の右フレームにあるいずれかの項目をクリックすると、左側の画像がグレースケールになります。
- ④ 左フレームの中心にある読取エリアを実際に読み取る位置に移動させます。
- ⑤ 「ラベル名」欄を入力し、「**出力するデータの種類を選択してください**」から読み取るモデルを選択します。

※読み取る項目数分を設定します（「**+読取りエリア追加**」）。  
※「**読み取り内容の種類**」については、10.1 をご参照ください。  
※丸囲み及びチェックボックスの設定については、6.7 及び 6.8 をご参照ください。  
※複数ページあるテンプレートの設定については、6.20 をご参照ください。  
※一部のチェック項目と選択項目の設定については、以下をご参照ください。

- ・「**AI 自動確認**」：6.6 参照
- ・「**OCR 設定**」 → 「**辞書を適用する**」：6.9 参照
- ・「**OCR 設定**」 → 「**正規表現を適用する**」：6.10 参照
- ・「**OCR 設定**」 → 「**認識パターン**」：6.11 参照
- ・「**削除領域**」：6.12 参照
- ・「**出力時設定**」：6.13 参照
- ・「**カスタマイズ**」：6.14 参照
- ・「**形式**」：6.15 参照

- ⑥ 「**保存**」をクリックして、テンプレートの設定情報を保存します。

テンプレートの設定が終わったら、実際の読取対象画像の読取を行います。

⇒タスク作成へ (0)

➤ 読取エリア設定画面

DEEPREAD

テンプレート 辞書 タスク

テンプレート一覧・テスト

読み取りエリアを設定しましょう

0000 参加申込書

申込日 2017 年 12 月 / 日

フリガナ	姓	タナカ	名	タロウ
氏名	姓	田中	名	太郎
生年月日		1989 年 5 月 / 日	職業	会社員
フリガナ	〒123-4567	〒123-4567	ミナトク	ヒコシマ市
郵便番号		東京都	港区	西青山 1-1-1
T E L	03-1234-5678	携帯電話	090-1234-5678	
Eメール	abcdef1234 @ gh.com			
フリガナ	会社名	株式会社	会社名	株式会社
社名		株式会社	会社名	株式会社
部署名	営業本部	部署名	一般	
フリガナ	〒123-4567	〒123-4567	〒123-4567	〒123-4567
郵便番号		東京都	港区	西青山 1-1-1
T E L	03-9876-5432	F A X	03-9876-5432	

読み取りエリア設定

読み取りエリアのタイトルを入力

1 テンプレートを認識して下さい

読み取りエリア設定

読み取り内容の種類

出力するデータの種別を選択してください

OCR設定

削除領域

出力時設定

① ② ③ ④ ⑤

+ 読み取りエリア追加

+ 自動検出エリア追加

1 / 1 < >

A 読取エリアの設定対象画像

B テンプレートに対する各処理を実行するボタン

C 読取エリアの名称や範囲、使用する読取モデル、その他の設定を行う領域

※読取エリアをドラッグして動かすことで順番を並び替えることができます。

- ① 画面の拡大縮小ができます。
- ② テンプレート全体に対する操作ができます (6.4 参照)。
- ③ 読取エリアを追加できます。
- ④ 読取エリアの自動検出ができます (6.16 参照)。
- ⑤ 設定項目を 20 個ずつ表示します (20 個を超える場合は次項になります)。  
※ 「<」、 「>」、 または直接ページ数を入力することでページを移動できます。

### 6.3. テンプレート作成（非定型帳票：読取座標を設定しない場合）

※非定型読取をご利用の場合のみ利用できます。

The image illustrates the process of creating a non-fixed form template in DEEPREAD. It is divided into two main parts:

- Top Part: Template Creation Dialog**
  - The main interface shows the 'テンプレート作成' (Create Template) dialog box. A red circle '1' highlights the '+ 新規作成' (New) button in the top right corner of the main window.
  - The dialog box has a title 'テンプレート作成' and a subtitle '記入前の書類をテンプレートとして設定します' (Set the document before input as a template).
  - It contains a text input field for 'テンプレート名' (Template Name).
  - There are two radio buttons: '定型帳票' (Fixed Form) and '非定型帳票' (Non-fixed Form), with '非定型帳票' selected.
  - Below the radio buttons are two buttons: 'ファイルを選択' (Select File) and a language dropdown menu set to '日本語' (Japanese).
  - There are two checkboxes: 'メタデータをインポート' (Import Metadata) and '公開する' (Publish).
  - At the bottom of the dialog are two buttons: 'キャンセル' (Cancel) and 'フィールドを選択してください' (Select a field).
  - A red circle '2' highlights the 'フィールドを選択してください' button.
- Bottom Part: Reading Area Setting Dialog**
  - The main interface shows the '読み取りエリア設定' (Reading Area Setting) dialog box. A red circle '4' highlights the '保存' (Save) button in the top right corner of the main window.
  - The dialog box has a title '読み取りエリア設定' and a subtitle '読み取りエリアを設定しましょう' (Set the reading area).
  - It contains a text input field for '読み取りエリアのタイトルを入力' (Enter the title of the reading area).
  - There are two text input fields: 'キーワードの抽出' (Keyword Extraction) and 'ラベル名' (Label Name). A red circle '3' highlights the 'キーワードの抽出' field.
  - There are three checkboxes: 'ポストプロセッシング' (Post-processing) which is checked, 'カスタマイズの適用' (Apply Customization), and '正規表現を適用する' (Apply Regular Expression).
  - At the bottom of the dialog is a button: '+ 読取りエリア追加' (+ Add Reading Area).

- ① テンプレート一覧画面で「+新規作成」からテンプレート作成画面を表示します。
- ② 「非定型帳票」を選択し、テンプレート名を入力して「フィールドを選択してください」をクリックします。

※プルダウン（日本語／英語）：読み取る帳票の言語を選択できます（日本語／英語）。  
※「公開する」：テンプレートの公開／非公開を設定できます（6.21 参照）。  
※「メタデータのインポート」：テンプレート設定ファイル（メタデータ）をインポートすることができます（6.23 参照）。  
※「定型帳票」：定型帳票（読取座標を設定する場合）を設定できます（6.2 参照）。

- ③ テンプレート作成画面の右フレームの各項目の「ラベル名」欄を入力し、読み取る項目のキーワードを「キーワードの抽出」欄に入力します。

（例）

読み取り対象項目：氏名

- ・読み取り帳票内で氏名を表現する名称等（「氏名」、「名前」など）を設定

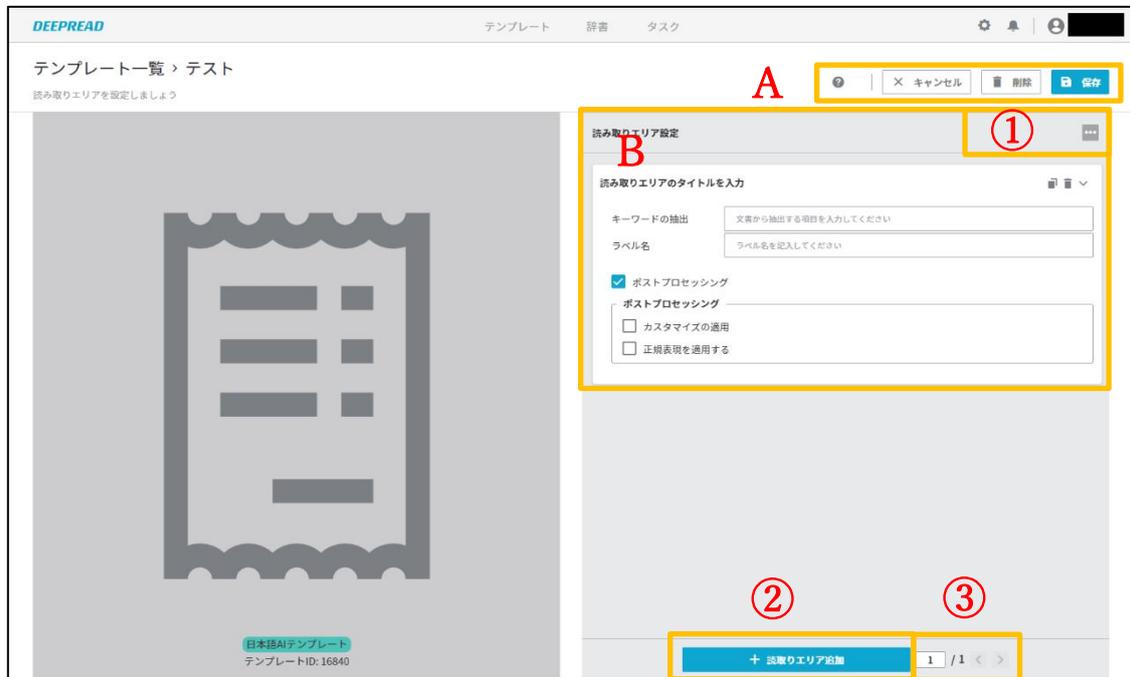
※読み取り対象帳票から出力したい項目をキーワードとして設定します。  
※読み取る項目数分を設定します（「+読取りエリア追加」）。  
※「ポストプロセッシング」の設定については、以下をご参照ください。  
・「カスタマイズの適用」：6.13 参照  
・「正規表現を適用する」：6.10 参照

- ④ 「保存」をクリックして、テンプレートの設定情報を保存します。

テンプレートの設定が終わったら、実際の読取対象画像の読取を行います。

⇒タスク作成へ (0)

➤ 読取項目設定画面



A テンプレートに対する各処理を実行するボタン

B 読取項目の名称や読み取るキーワード、その他の設定を行う領域

※読取エリアをドラッグして動かすことで順番を並び替えることができます。

① テンプレート全体に対する操作ができます（6.4 参照）。

② 読取エリアを追加できます。

③ 設定項目を 20 個ずつ表示します（20 個を超える場合は次項になります）。

※「<」、「>」、または直接ページ数を入力することでページを移動できます。

## 6.4. 操作ボタン

※選択したテンプレート全体に対する操作を行います。



※①と②の内容の説明は以下の通りです（定型帳票（読取座標を設定する場合）のみ）。

No.	項目	内容
①	透かし除去	ノイズを強めに除去する（薄いプレプリントなどを除去します）
②	図形補正あり	読取画像毎の傾きや伸縮を補正して、読取エリアを適切に抽出する
	図形補正あり（高精度）	読取画像毎の傾きや伸縮を補正して、読取エリアを高精度に抽出する （「図形補正あり」よりも時間がかかる）
	図形補正なし	読取画像毎の傾きや伸縮を補正しない

※「メタデータのインポート」、「メタデータのエクスポート」については、6.23 をご参照ください。

## 6.5. プレビュー表示（認識結果の事前確認）

※定型帳票のテンプレート設定画面で各設定項目の認識結果を確認（プレビュー表示）することができます（初期設定）。

- ✓ テンプレート画像の各項目の認識結果をプレビュー表示する（初期設定）
- ✓ 任意の読取画像の各項目の認識結果をプレビュー表示する



- ① 定型帳票のテンプレート設定画面で読取エリアを設定します。
- ② 読取エリアで設定した読取対象項目の各種設定を行います。
- ③ 設定した内容に基づいてプレビュー用画像ファイルの認識結果が表示されます。

※初期設定では、プレビュー用画像ファイルにテンプレート画像が設定されています（未記入のテンプレート画像を使用している場合は何も表示されません）。

※保存済のテンプレート（編集集中でないテンプレート）でも、認識結果のプレビュー表示を確認することができます（プレビュー用画像ファイルは変更可能です）。

※初期設定は、プレビュー表示する設定です（プレビュー表示しない設定に変更可能です）。

▶ プレビュー用画像ファイルの変更

※プレビュー用画像ファイルを変更することができます。

テンプレート一覧・プレビュー

読み取りエリアを設定しましょう

〇〇〇〇 参加申込書

20/7 年 / 12 月 / 日

読取項目の設定

読取結果フィルタ

読取エリアのタイトルを入力

1 申込日

住所補完

プレビュー用ファイルを上ロード

読取りエリアのプレビューを表示するには、以下よりプレビューに使用するファイルを設定してください。

現在のプレビューファイル

〇〇〇〇 参加申込書

2024 年 / 12 月 / 日

テンプレート画像をプレビューに使用

ファイルをアップロード

キャンセル

同意する

読取エリア設定

読取エリアのタイトルを入力

1 申込日

読取結果フィルタ

読取り内容の種類

一般 (日本語)

AI自動読取

OCR検定

別紙領域

住所補完

出力時検定

プレビュー表示

2024年12月1日

※実際の読取画像ファイル等を設定する

- ① 「プレビュー」右の「下矢印」をクリックして、プレビュー用ファイルをアップロード画面を開きます。
- ② 「ファイルをアップロード」をクリックして、プレビュー表示する画像をアップロードし「同意する」をクリックします。
- ③ 設定した画像ファイルの認識結果がプレビュー表示されます。

※初期設定では、プレビュー用画像ファイルにテンプレート画像が設定されています。

※プレビュー用ファイルをアップロード画面で、「テンプレート画像をプレビューに使用」をクリックし「同意する」をクリックすることで、テンプレート画像をプレビュー用画像ファイルに設定することができます。

### ➤ プレビューの非表示設定

※プレビューを非表示にできます。

The image shows two screenshots of a software interface. The top screenshot is a close-up of the '認識項目の設定' (Recognition Item Settings) panel. It features a 'プレビュー' (Preview) button with a downward arrow, which is highlighted by a yellow box and a red circle containing the number '1'. Other options include '透かし除去' (Remove Watermark), '図形補正あり' (Shape Correction), '背景色を除去' (Remove Background Color), and '認識結果フィルタ' (Recognition Result Filter). The bottom screenshot shows the main interface with a 'プレビュー' (Preview) button on the right side, highlighted by a yellow box and a red circle containing the number '2'. The main area displays a table of recognition results for a document titled '参加申込書' (Participation Application Form).

フリガナ	フリガナ	フリガナ	フリガナ
田中	大	大	大
1989	5	月	日
東京都港区赤坂1-7-1			
03-549-5998			
abcde@1234 @ g.hi.com			
株式会社 株式会社			
営業本部			
東京都港区赤坂1-7-1			
03-549-5992			

- ① 「プレビュー」をクリックします。
- ② プレビューが非表示になります。

※再度「プレビュー」をクリックすることで、プレビューを表示させることができます。

## 6.6. AI 自動確認

※独自の機構により、認識された結果を AI が自動で確認を行います。AI が正解と判断した場合、確信度が 100%で出力されます。



① 読取エリアの設定で「AI 自動確認」をチェックします。

※本機能は、読取モデル（読み取り内容の種類）が「一般（日本語）」、「数字」、「数字(枠なし)」で利用できます。

➤ 読取結果（確信度）

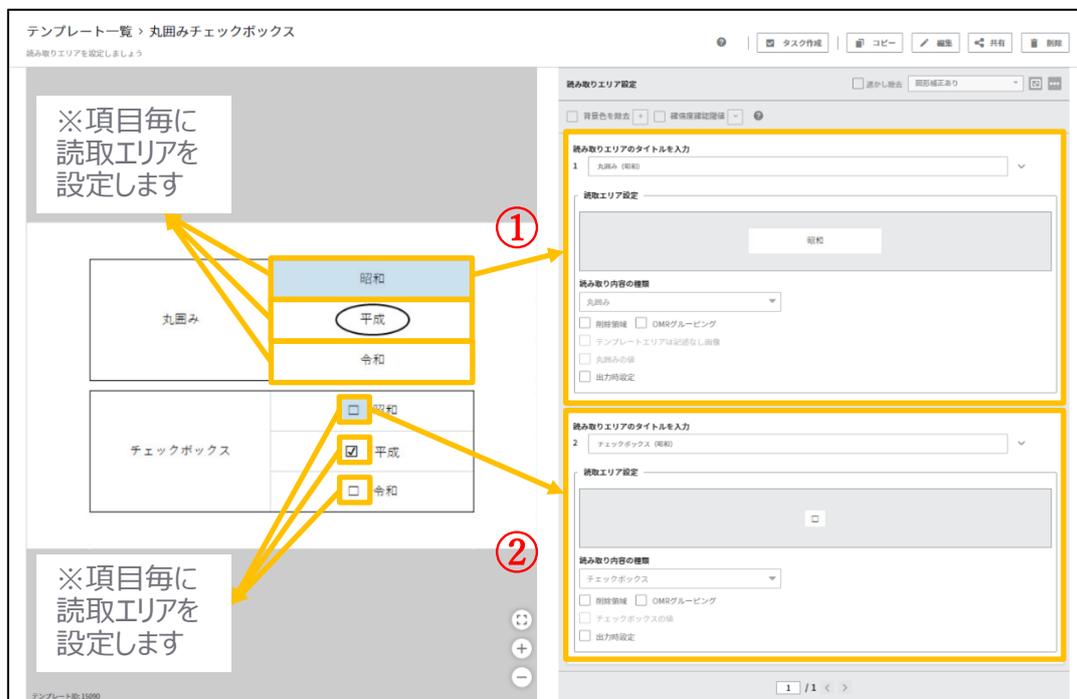
（例）

AI が正解と判断した場合の確信度

ミニマム	平均値
100%	100%

## 6.7. 丸囲み・チェックボックスの設定1（個別設定）

※個別の丸囲みやチェックボックスの設定を行います（個々の結果が出力されます）。



- ① 丸で囲まれる範囲を読取エリアとして、読み取り内容の種類に「丸囲み」を設定します（個数分の設定を行います）。

（例1）

生年月日の「昭和」、「平成」、「令和」の丸囲み

- ・「昭和」、「平成」、「令和」のそれぞれに丸囲みを設定

- ② チェックボックスの範囲を読取エリアとして、読み取り内容の種類に「チェックボックス」を設定します（個数分の設定を行います）。

（例2）

生年月日の「昭和」、「平成」、「令和」のチェックボックス

- ・「昭和」、「平成」、「令和」のそれぞれにチェックボックスを設定

※「丸囲みの値」、「チェックボックスの値」：それぞれ丸囲みを読取った場合、または、チェックを読取った場合に出力する値を設定します。設定がない場合は、読取った場合に「1」を出力します。

※「OMR グループング」：複数の丸囲み、または、複数のチェックボックスをグループングすることができます（6.8 参照）。

➤ テンプレートエリアは記述なし画像（丸囲みのみ）

※予め文字やガイドラインが印字された丸囲みは、未記入の画像をテンプレートとして設定することで読み取り精度を改善することができます。



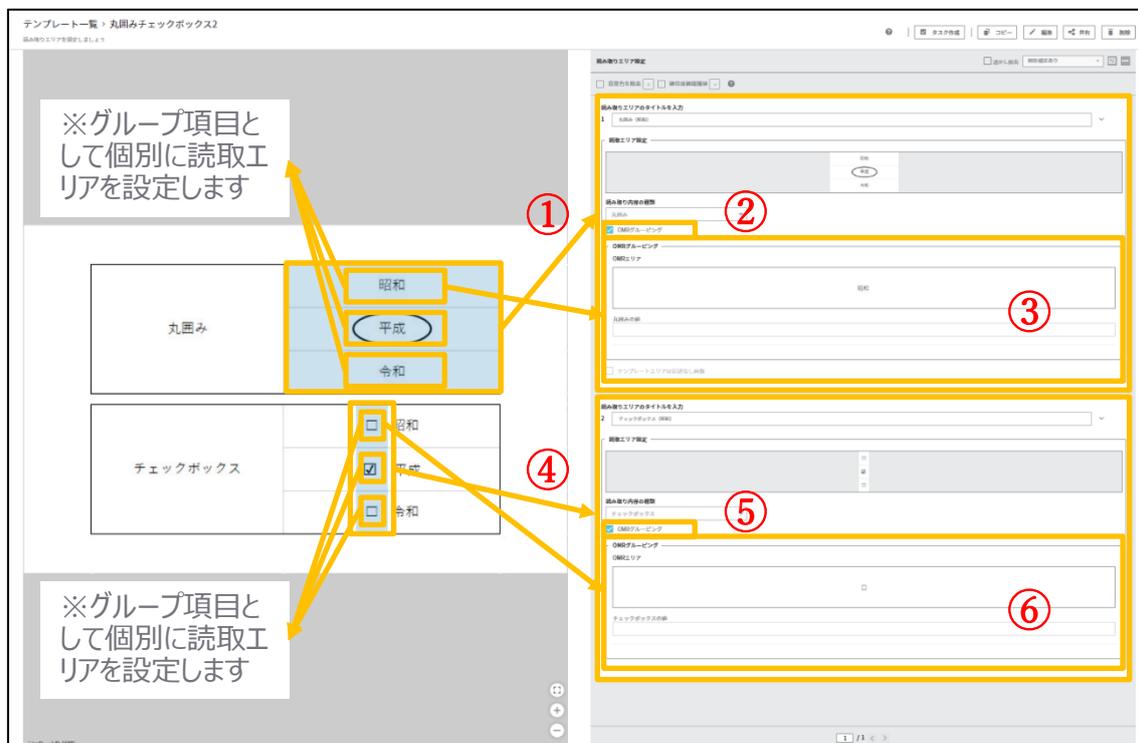
① 読み取り対象の丸囲み（未記入）を読取エリアに設定します。

② 「テンプレートは記述なし画像」を選択します。

※読取画像とテンプレート画像の印字部分の差分を検知して読み取りを行います。

## 6.8. 丸囲み・チェックボックスの設定 2 (グルーピング設定)

※複数の丸囲みやチェックボックスをグルーピングする設定を行います (複数の丸囲みやチェックボックスに対して1つの結果が出力されます)。



- ① グルーピングする全ての丸囲みを含む範囲を読取エリアとして、読み取り内容の種類に「丸囲み」を設定します。
- ② 「OMR グルーピング」をチェックし、各丸囲みを設定する OMR エリアを開きます。
- ③ 丸で囲まれる範囲を個別の読取エリアとして設定します (「+」をクリックして個数分の設定を行います)。

(例 1)

生年月日の「昭和」、「平成」、「令和」の丸囲み

- ・「昭和」、「平成」、「令和」の丸囲みを含む範囲に丸囲みを設定
- ・「昭和」、「平成」、「令和」のそれぞれに読取エリアを設定

- ④ グルーピングする全てのチェックボックスを含む範囲を読取エリアとして、読み取り内容の種類に「チェックボックス」を設定します。
- ⑤ 「OMR グルーピング」をチェックし、各チェックボックスを設定する OMR エリアを開きます。

- ⑥ チェックボックスの範囲を個別の読取エリアとして設定します（「+」をクリックして個数分の設定を行います）。

（例 2）

生年月日の「昭和」、「平成」、「令和」のチェックボックス

- ・「昭和」、「平成」、「令和」のチェックボックスを含む範囲にチェックボックスを設定
- ・「昭和」、「平成」、「令和」のそれぞれに読取エリアを設定

➤ テンプレートエリアは記述なし画像（丸囲みのみ）

※予め文字やガイドラインが印字された丸囲みは、未記入の画像をテンプレートとして設定することで読み取り精度を改善することができます。



- ① 読み取り対象の丸囲み（未記入）を読取エリアに設定します。
- ② 「OMRグルーピング」をチェックし、各丸囲みを設定します。
- ③ 「テンプレートは記述なし画像」を選択します。

※読取画像とテンプレート画像の印字部分の差分を検知して読み取りを行います。

➤ 読取結果

※丸囲み、または、チェックを読取った場合の読取結果は、個別の読取エリアの順序番号がグルーピングした1項目として出力されます。複数の丸囲み、または、チェックを読取った場合の読取結果は、読取った個数分の順序番号が出力されます。

※「丸囲みの値」、「チェックボックスの値」：それぞれ丸囲みを読取った場合、または、チェックを読取った場合に出力する値を設定します。

(例：丸囲み・チェックボックス共通)

生年月日の「昭和」、「平成」、「令和」を順番に丸囲み、または、チェックボックスの個別の読取エリアとして設定した場合：

※2番目の「平成」に丸囲み、または、チェックを読取ったとき、読取結果は「2」が出力されます。

※1番目の「昭和」と2番目の「平成」に丸囲み、または、チェックを読取ったとき、読取結果は「1,2」が出力されます。

※1番目の「昭和」と3番目の「令和」に丸囲み、または、チェックを読取ったとき、読取結果は「1,3」が出力されます。

※1番目の「昭和」の「丸囲みの値」、または、「チェックボックスの値」に「S」を設定したとき、丸囲み、または、チェックを読取ると、読取結果は「S」が出力されます。



- ① 「辞書」をクリックします。
- ② 「+ファイルをアップロードする」をクリックして辞書ファイルをアップロードする画面を開きます。
- ③ 辞書ファイル（テキストファイル（.txt形式））をアップロードします。

#### 辞書ファイル

- ・テキストファイル（.txt形式）
- ・1行に1つの値（出力する値）を定義
- ・文字コード：UTF-8+BOM

- ④ 「辞書名」欄に当該辞書を利用するとき使用する辞書名を入力します。
- ⑤ 「保存」をクリックして画面を閉じ、辞書を利用するテンプレート設定画面を開きます。
- ⑥ 辞書を利用する項目で、「OCR設定」をチェックします。
- ⑦ 「辞書を適用する」を選択します。
- ⑧ リストから③で設定した辞書名を選択します。

#### ➤ 読取結果（辞書にない場合）

（例）

以下の読取画像（下の辞書ファイルを利用）

※読取画像の3番目（名前3）と5番目（名前5）の氏名は辞書リストに未定義

#### 【読取画像】

氏名1	氏名1	氏名4	氏名4
氏名2	氏名2	氏名5	名前5
氏名3	名前3	氏名6	氏名6

#### 【辞書ファイル】

```

氏名辞書.txt
氏名1
氏名2
氏名3
氏名4
氏名5
氏名6

```

⇒3番目と5番目の値は辞書の値と一致しないため空値が出力

➤ 強めの補正

※読取結果を辞書の内容に補正して出力します（多少の読取間違いや書き間違いは辞書の内容に補正されて出力されます）。

読み取り内容の種類  
一般 (日本語)

OCR設定

OCR設定

辞書を適用する

氏名辞書

強めの補正を行う ①

補正対象が見つからないとき 補正していない結果そのままを返す ②

補正対象が複数あるとき 補正していない結果そのままを返す ③

- ① ユーザカスタム辞書設定後に「強めの補正を行う」をチェックします。
- ② 「補正対象が見つからないとき」の処理を選択します。

選択項目

- ・補正していない結果そのままを返す
- ・定義した文字を返す

- ③ 「補正対象が複数あるとき」の処理を選択します。

選択項目

- ・補正していない結果そのままを返す
- ・補正結果のうち1つを返す
- ・補正結果をすべて返す
- ・定義した文字を返す

※強めの補正なし：記載されている内容を優先し、辞書にない値は出力しません

※強めの補正あり：辞書の内容を優先し、辞書の内容に補正をして出力します

## 6.10. 正規表現の設定

※正規表現を用いて読取形式を設定することができます。

- ✓ 読取結果を設定した正規表現に補正できる場合は補正した結果を出力する
- ✓ 読取結果を設定した正規表現に補正できない場合はそのまま出力する（「結果フィルタ」なしの場合）

読み取りエリアのタイトルを入力

1 正規表現1

読取エリア設定

AA012345

読み取り内容の種類

一般 (日本語)

OCR設定 ①

OCR設定

辞書を適用する

正規表現を適用する ②

正規表現 ③ ^AA\d{6}  結果をフィルタする

認識パターン

複数行 (β)

削除領域  住所補完

出力時設定

- ② 「OCR 設定」をチェックします。
- ③ 「正規表現を適用する」を選択します。
- ④ 「正規表現」欄に正規表現で読取形式を設定します。

(例)

語頭「AA」に6桁の数字が続く文字列

・「`^AA\d{6}`」等を設定

※バックスラッシュ+アルファベットについては、利用可能な正規表現は以下の通りです。

¥n、¥d、¥D、¥s、¥S、¥w、¥W

➤ 結果のフィルタ

※読取結果をフィルタして出力します（設定した正規表現に一致しない場合に、以下で設定した内容を入力します）。

読み取り内容の種類  
一般 (日本語)

OCR設定

OCR設定

辞書を適用する

正規表現を適用する

正規表現  ①  結果をフィルタする

一致しない場合 ②

- ① 正規表現設定後に「結果をフィルタする」をチェックします。
- ② 「一致しない場合」の処理を選択します。

選択項目

- ・元の結果を返す
- ・カスタム結果を返す

正規表現   結果をフィルタする

一致しない場合

## 6.11. 認識パターンの設定

※読取る文字数（桁数）が固定の場合などは、1文字単位で読取る可能性のある文字を予め指定することができます。

- ✓ 読取結果が設定した認識パターンに一致する場合は一致した結果を出力する
- ✓ 読取結果が設定した認識パターンに一致しない場合は不一致以降の文字を出力しない

テンプレート一覧・テスト（認識パターン）

読み取りエリアを設定しましょう

〇〇〇〇 参加申込書

申込日 2017 年 12 月 / 日

フリガナ	セイ	タナカ	メイ	タロウ
氏名	姓	田中	名	太郎
生年月日		1989 年 5 月 / 日	職業	会社員
フリガナ	〒	123-4567	〒	123-4567
郵便番号		東京都港区東青山 1-1-1		
T E L		03-1234-5678	携帯電話	03-1234-5678
メールアドレス		abcdef1234@ghi.com		
フリガナ	〒	123-4567	〒	123-4567
郵便番号		株式会社 教訓商事		
フリガナ	〒	123-4567	〒	123-4567
郵便番号		営業本部		一般
フリガナ	〒	123-4567	〒	123-4567
郵便番号		東京都港区西青山 1-1-1		
T E L		03-9876-5432	F A X	03-9876-5432

読み取りエリア設定

読み取りエリアのタイトルを入力

1 申込日

読み取りエリア設定

2017 年

読み取り内容の種類

一般（日本語）

OCR設定 ①

対象を適用する

正確度を適用する

認識パターン ②

キャラクター設定

キャラクター-1 2

キャラクター-2 0

キャラクター-3 0123 ③

キャラクター-4 0123456789

キャラクター-5 年

複製行 (0)

非数値領域  住所補完

※「+」で、入力欄を追加できます

+ 読み取りエリア追加

+ 自動検出エリア追加

1 / 1 < >

- ① 「OCR設定」をチェックします。
- ② 「認識パターン」を選択し、「+」で文字数分の入力欄を作成します。
- ③ 1文字毎に読取る可能性のある文字を、「キャラクター」欄に入力します（「1」、「2」、「3」を読取る場合は、「123」（カギ括弧は不要）と入力します）。

（例）

日付欄の西暦「2017年」：5文字（桁）

・5個の入力欄を作成し、それぞれに以下を設定

- ・キャラクター1：2
- ・キャラクター2：0
- ・キャラクター3：0123
- ・キャラクター4：0123456789
- ・キャラクター5：年

⇒ 「2000年」から「2039年」が出力される。

### ➤ 読取結果

※読取対象文字列に対し、左から 1 文字ずつ順番に、設定された認識パターンと一致しているかをチェックし、一致しない文字があった時点で処理が終了します（処理が終了するまでの読取結果が出力されます）。

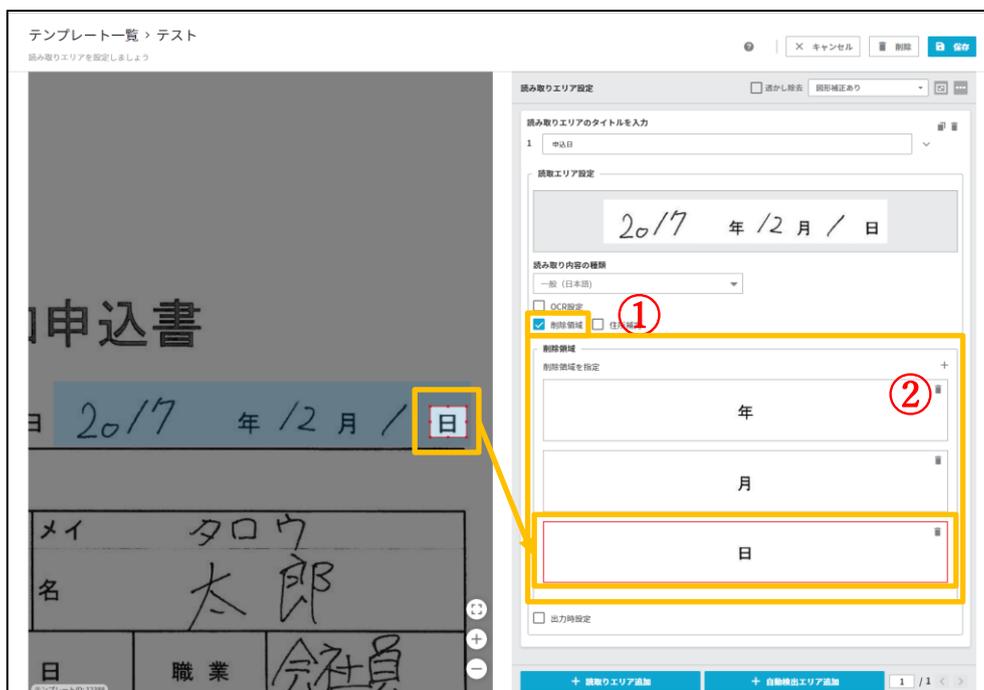
(例)

読取文字列が「2A」で、キャラクター1:2、キャラクター2:Aを設定

⇒読取られた文字列が「20」の場合、「2」が出力される（※「0」は処理されない）

## 6.12. 削除領域の設定

※読取エリアの中で読取対象外とする範囲を設定することができます。



- ① 「削除領域」をチェックします。
- ② 読取エリアの中で読取対象外とする範囲を設定します（「+」をクリックして読取対象外とする範囲を追加できます）。

(例)

日付欄の西暦「2017年12月1日」

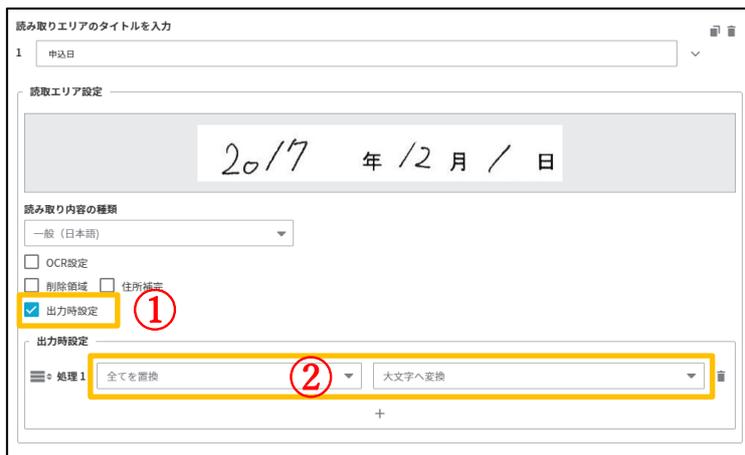
・削除領域に「年」、「月」、「日」を設定

⇒「2017121」が出力される。

### 6.13. 出力時設定

※読取結果を変換して出力することができます。

- ✓ 定型帳票のテンプレート：10個の変換処理を設定可能
- ✓ 非定型帳票のテンプレート：2個の変換処理を設定可能



- ① 「出力時設定」をチェックします。
- ② 選択項目で「全てを置換」か「単語を置換」を選択して、変換処理を設定します。

#### 選択項目

全てを置換	変換処理：「小文字へ変換」／「大文字へ変換」を選択
単語を置換	変換処理：特定単語の変換前後の文字を入力

#### ➤ 選択項目の操作方法



- ① 変換処理を追加できます（処理 1、処理 2、…）。
- ② 変換処理を削除できます。
- ③ ドラックで変換処理の順番を変更することができます。

## 6.14. 読取形式のカスタマイズ（日付・時刻）

※形式が決まっている日付や時刻を読み取る場合に日付と時刻の読取形式を設定することができます。

- ① 読み取り内容の種類に「日付・時刻（フォーマット指定 規定値: YYYY/MM/DD）」を設定します。
- ② 「カスタマイズ」をチェックします。
- ③ 「？」を参考にして、形式入力欄に読取形式を設定します。

(例 1)

「年」、「月」、「日」の表記がある日付（「1989年5月1日」）

・「YYYY年M月D日」を設定

(例 2)

「-」が「年」、「月」、「日」の区切りを表す日付（「1989-05-01」）

・「YYYY-MM-DD」を設定

※規定値として、「YYYY/MM/DD」が設定されています。

※「MM」は「01」など0埋めされた2桁数字を表します（「M」は「1」や「11」など）。

## 6.15. 読取形式の選択（日付／電話番号）

※日付や電話番号を読み取る場合に地域により異なる形式を選択することができます。

The screenshot shows the '読み取りエリア設定' (Reading Area Settings) dialog box. It is divided into two sections for configuring reading areas. The first section is for '生年月日' (Date of Birth) with a sample input '1989年5月1日'. The '読み取り内容の種類' (Reading Content Type) is set to '日付' (Date) and the '形式' (Format) is 'YMD (日本式)'. The second section is for '電話番号' (Phone Number) with a sample input '03-1234-5678'. The '読み取り内容の種類' is set to '電話番号' (Phone Number) and the '形式' is '電話番号 (日本)'. Red circles with numbers 1, 2, 3, and 4 highlight the '読み取り内容の種類' and '形式' dropdown menus for both sections.

- ① 読み取り内容の種類に「日付」を設定します。
- ② 「形式」を選択します。

選択項目

- ・ YMD (日本式)
- ・ MDY (アメリカ方式)
- ・ DMY (イギリス方式)

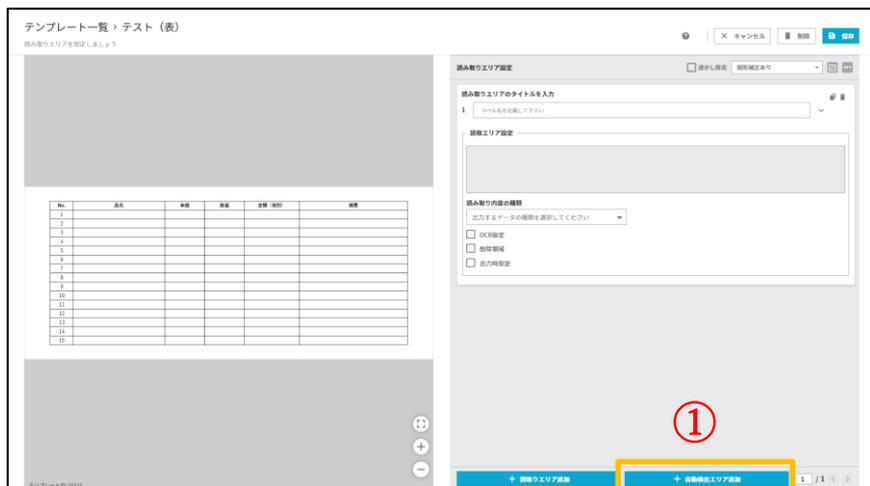
- ③ 読み取り内容の種類に「電話番号」を設定します。
- ④ 「形式」を選択します。

選択項目

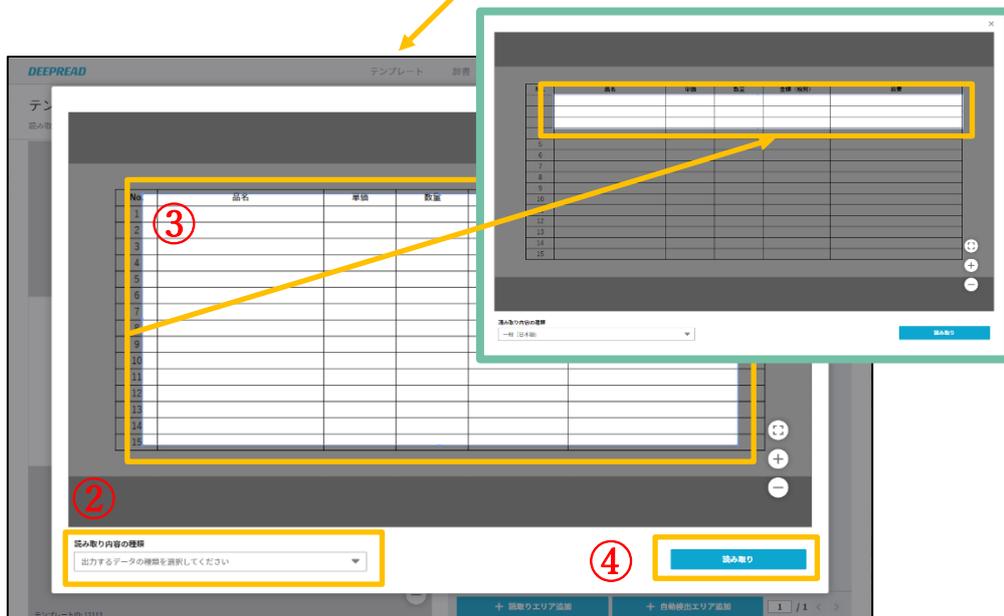
- ・ 電話番号 (日本)
- ・ 電話番号 (汎用)

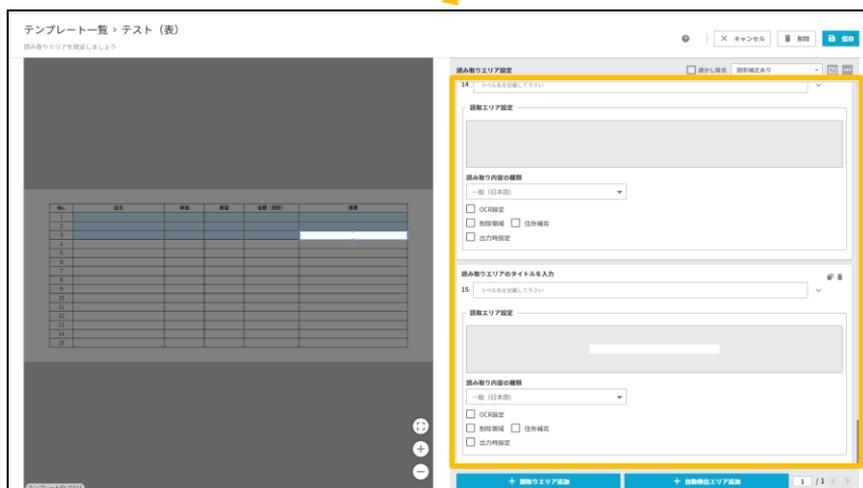
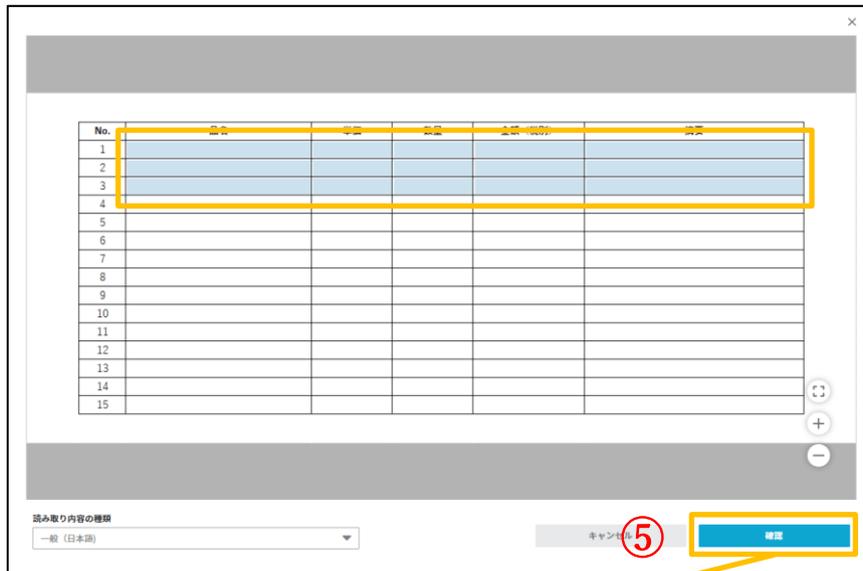
## 6.16. 読取エリアの自動検出

※固定表の読取など同じ項目が複数ある場合に、個々の読取エリアを自動で検出することができます。



※自動検出する範囲を指定します。





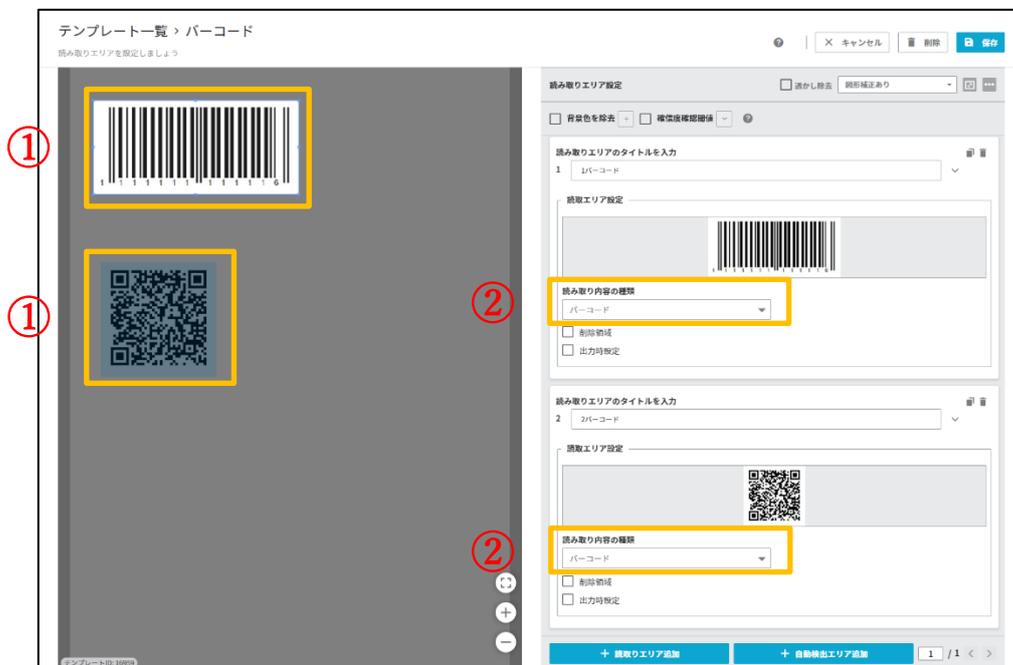
- ① 「+自動検出エリア追加」をクリックして、自動検出範囲を設定する画面を開きます。
- ② 「読み取り内容の種類」から読み取りモデルを選択します。

※読み取り内容の種類については、10.1をご参照ください。

- ③ 読取エリアを自動検出したい位置に移動させます。
- ④ 「読み取り」をクリックして、検出した読取エリアを確認する画面を開きます。
- ⑤ 自動検出した読取エリアを確認して「確認」をクリックすると、読取エリアが自動生成されます。「キャンセル」をクリックすると保存されず画面が閉じます。

## 6.17. バーコードの読取

※バーコード（1次元バーコード、2次元（QR）バーコード）を読み取ることができます。



- ① 読み取り対象のバーコードを読取エリアに設定します。
- ② 「読み取り内容の種類」から「バーコード」を選択します。

### ➤ 読取結果

(例)

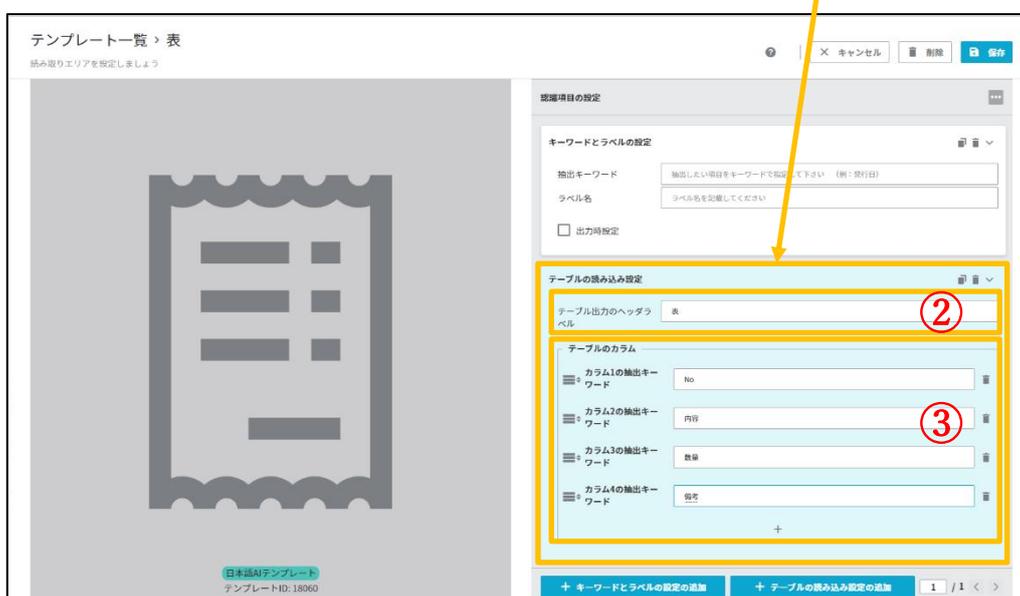
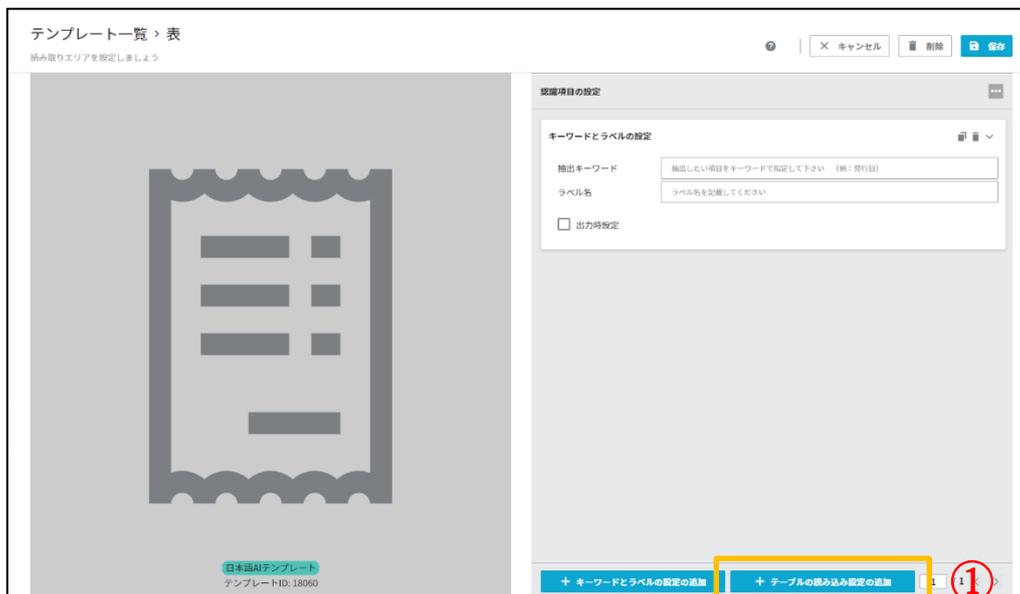
DEEP READ お問い合わせ先バーコード



⇒DEEP READ のお問い合わせ先 URL が出力

## 6.18. 表の読取

※簡単な表形式の読み取りを行うことができます（非定型読取をご利用の場合）。



- ① 非定型帳票認識のテンプレート設定画面で、「+テーブルの読み込み設定の追加」をクリックして、表読み取りの設定項目を開きます。
- ② 読み取る表の名称を設定します。
- ③ 「+」で表から出力したい列数分の列の項目名を設定します。

(例)

各列の項目名が「No」、「内容」、「数量」、「備考」の表

- ・出力したい列の入力欄を作成し、それぞれに以下を設定
  - ・カラム 1 の抽出キーワード：No
  - ・カラム 2 の抽出キーワード：内容
  - ・カラム 3 の抽出キーワード：数量
  - ・カラム 4 の抽出キーワード：備考

※表中の列の項目名が 1 行かつ一意でない場合は読み取りできません。

※帳票の中に複数の表がある場合は読み取りできません。

➤ 読取結果

※表形式の読取結果は、確認画面には読み取った表形式で表示され、結果ファイルには 1 項目として出力されます。

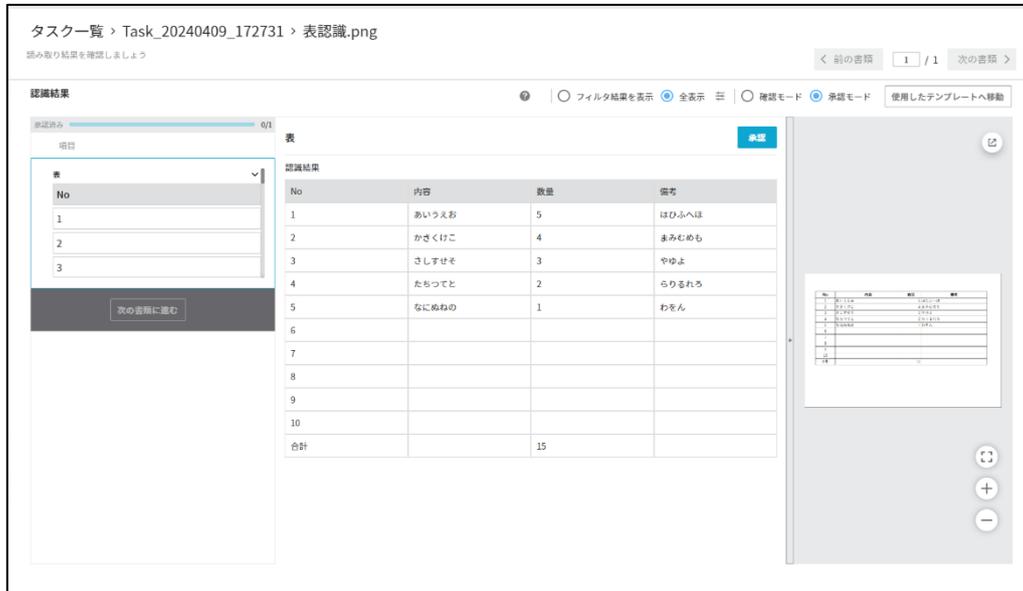
(例)

以下の表で、テーブル出力のヘッダーラベル：表、カラム 1 の抽出キーワード：No、カラム 2 の抽出キーワード：内容、カラム 3 の抽出キーワード：数量、カラム 4 の抽出キーワード：備考を設定

No	内容	数量	備考
1	あいうえお	5	ほひふへほ
2	かきくけこ	4	まみむめも
3	さしすせそ	3	やゆよ
4	たちつと	2	らりるれろ
5	なにぬねの	1	わをん
6			
7			
8			
9			
10			
合計		15	

### 【確認画面】

※読み取った表形式で表示されます。



### 【結果ファイル (CSV)】

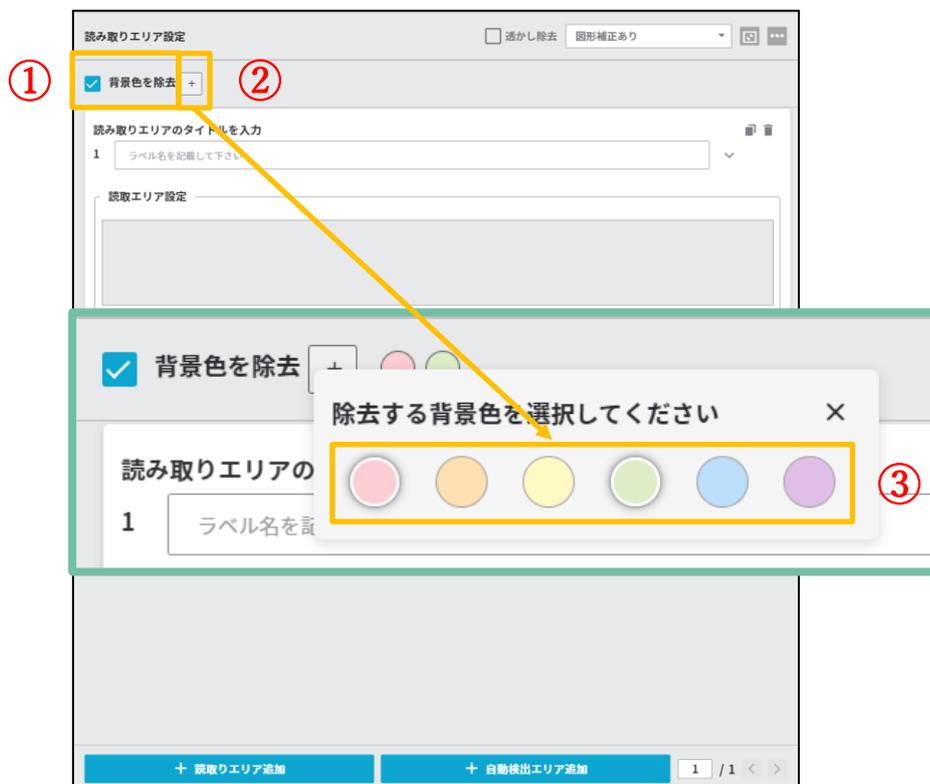
※1 読取画像ファイルの結果が 1 行に出力されます。

※1 項目目に読取画像ファイル名が出力され、2 項目目以降に読取結果が出力されます。

表認識.png	No,内容,数量,備考
	1,あいうえお,5,はひふへほ
	2,かきくけこ,4,まみむめも
	3,さしすせそ,3,やゆよ
	4,たちつてと,2,らりるれろ
	5,なにぬねの,1,わをん
	6,,
	7,,
	8,,
	9,,
	10,,
合計,,15,	

## 6.19. 背景色の除去

※帳票全体から特定の色を除去して読み取りを行うことができます。



- ① 「背景色を除去」をチェックします。
- ② 「+」をクリックして、除去する背景色の選択画面を開きます。
- ③ 除去する背景色を選択します。

### 選択項目

- ・ 赤色
- ・ 橙色
- ・ 黄色
- ・ 緑色
- ・ 青色
- ・ 紫色

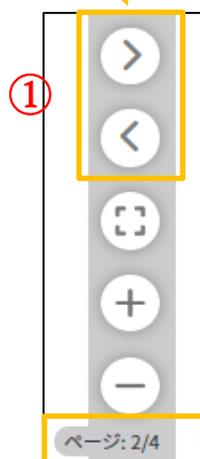
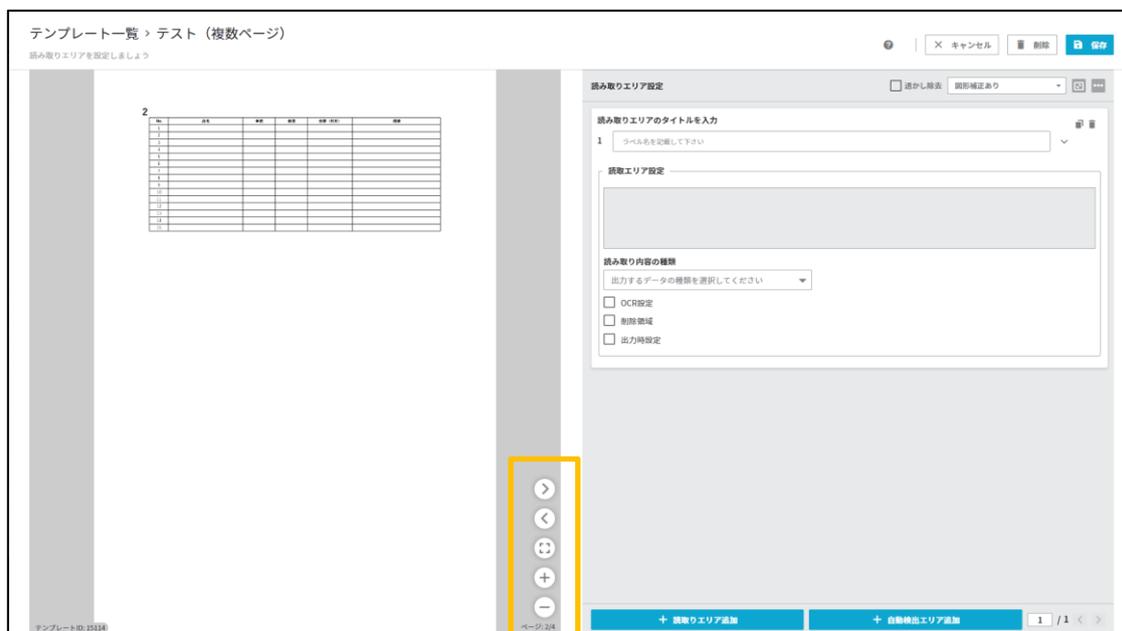
※複数の色を選択することができます。

※選択している色を再度選択することで選択を解除できます。

※選択している色は「+」の右に表示されます。

## 6.20. 複数ページの設定

※複数ページあるテンプレート（6.1 参照）を設定する場合は、ページ毎に読取エリアの設定を行います。



※ページ番号を確認できます。

① 「>」(次頁)、「<」(前頁) でページを移動して、各ページに必要な設定を行います。

※テンプレートと読取画像のページ数が一致しない場合はエラーになります。

※ページの順番を自動で判定し、順番を補正する機能はありません。

※複数テンプレートの読み取りはできません（7.3 参照）。

## 6.21. テンプレートの利用権限

※テンプレートにアクセスできるユーザを制限できます。

- ✓ 「公開」テンプレート：全てのユーザがアクセス可能
- ✓ 「共有」テンプレート：共有されているユーザのみアクセス可能

### ➤ 利用権限



※既存の設定済テンプレートは、全て「公開」設定になります。

※新しく作成するテンプレートは、「公開」または「共有」のいずれかを選択できます。

### 【公開テンプレート作成】



- ① テンプレート画面の「+新規作成」から「テンプレート作成」を選択します。
- ② 必要事項を入力してテンプレート作成画面の「公開する」を選択します。
- ③ 「保存」をクリックして、テンプレートの設定画面を開きます。

#### 【共有テンプレート作成】



テンプレートの設定画面で作成したテンプレートを一度保存します。



- ① テンプレート画面の「+新規作成」から「テンプレート作成」を選択します。
- ② 必要事項を入力してテンプレート作成画面の「公開する」を選択しません。
- ③ 「保存」をクリックして、テンプレートの設定画面を開きます。

※テンプレートの設定画面で作成したテンプレートを一度保存します。

- ④ テンプレートの設定画面で「共有」をクリックして共有設定画面を開きます。
- ⑤ 当該テンプレートを共有するユーザを設定します。

#### 【テンプレートの公開／共有の切り替え】



- ① テンプレート一覧画面の対象テンプレートの「…」から選択項目を表示します。
- ② 「テンプレートを公開する」、または、「テンプレートを公開しない」を選択し、テンプレートの公開と共有を切り替えます。

## 6.22. テンプレート画像の置き換え

※テンプレートを設定するための画像を置き換えることができます（座標情報が保持されるため、元画像と同サイズの画像を適用することで設定の手間を削減できます）。

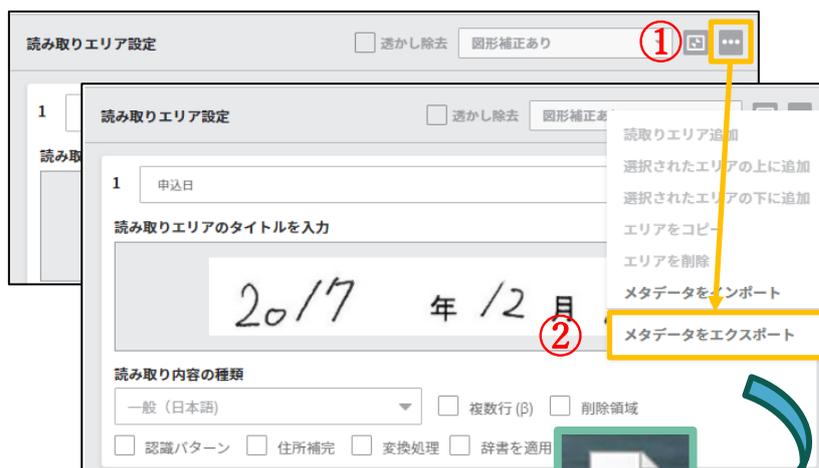


- ① テンプレート一覧画面の対象テンプレートの「…」から選択項目を表示します。
- ② 「テンプレート画像を置き換える」を選択し、テンプレート画像を置き換える画面を表示します。
- ③ ファイル名を確認し、「保存」をクリックします。

## 6.23. テンプレート設定ファイル（メタデータ）の利用

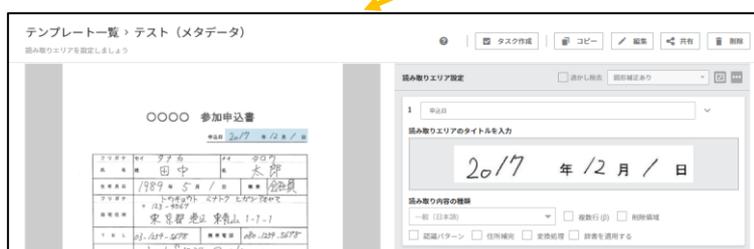
※テンプレートの設定内容をエクスポートして別環境の別画像に適用することができます（設定項目が少しだけ異なる画像などに適用することで設定の手間を削減できます）。

### 移行元テンプレート



※メタデータファイルをダウンロードします

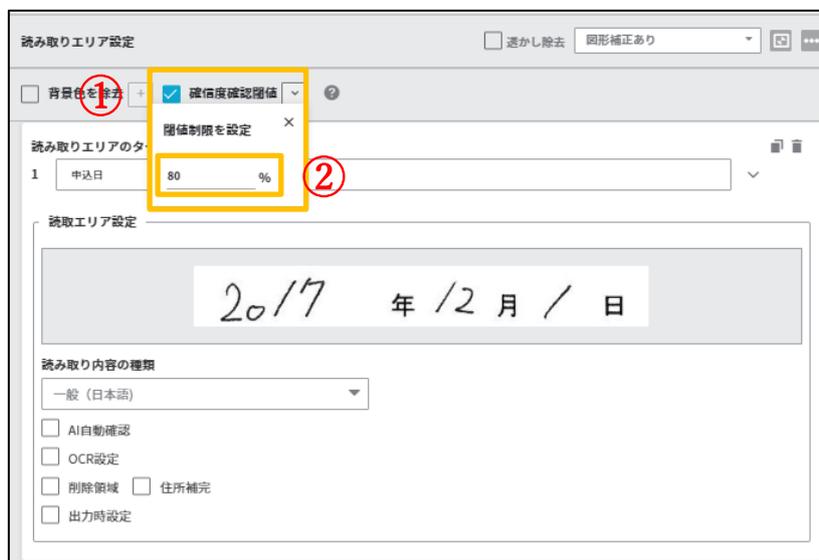
### 移行先テンプレート



- ① 移行元テンプレートの設定画面の「…」から選択項目を表示します。
- ② 「メタデータをエクスポート」で、テンプレート設定ファイルをダウンロードします。
- ③ 移行先テンプレートの設定画面の「…」から「メタデータをインポート」で、②でダウンロードしたメタデータファイルを対象画像に適用します。

## 6.24. 確信度閾値の設定

※認識結果の確認画面で確認する項目を分類して表示するための確信度（3.5 参照）の閾値を設定することができます。



- ① 「**確信度確認閾値**」をチェックし、「V」をクリックし「**閾値制限を設定**」を開きます。
- ② 確認する項目を分類する確信度の閾値を設定します。

※テンプレート単位で確信度の閾値を設定できます。

※確信度の閾値制限は「0%~100%」の値を設定できます。

※設定した確信度の閾値（初期値）はタスク実行後に変更することはできません。

※確信度の閾値により確認画面で項目を分類して表示することができます（8.6 参照）。

## 7. タスク作成・実行

内容

7.1	読取画像
7.2	タスク作成・実行
7.3	複数テンプレートのタスク作成・実行
7.4	全文読取のタスク作成・実行
7.5	タスクの実行

## 7.1. 読取画像

以下の形式の画像ファイルを読み取りできます。

1 ページの読み取り	JPEG、PNG、PDF、TIFF 上記の複数ファイルを圧縮した zip ファイル
複数ページの読み取り	PDF、TIFF ※複数テンプレートの読取は不可

※読み取り内容による読み取り方法は以下をご参照ください。

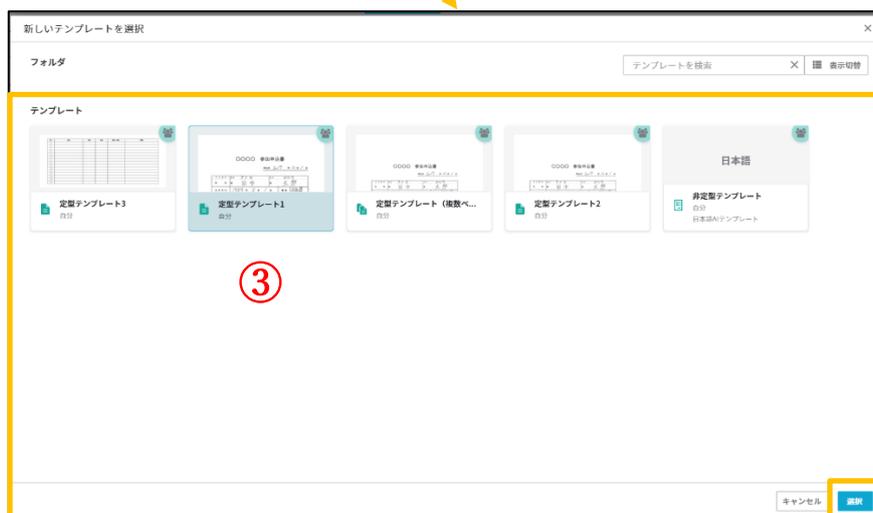
読取内容	タスク 作成・実行
1 種類 (1 ページ/複数ページ) のテンプレートを利用した読み取り (定型帳票：1 ページ/複数ページ、非定型帳票：キーワード項目)	7.2 参照
複数種類 (1 ページ) のテンプレートを利用した読み取り (定型帳票：複数種類)	7.3 参照
全文の読み取り (非定型帳票：全文)	7.4 参照

※非定型帳票のキーワード項目の読み取りでは、1 種類 (1 ページ) のテンプレートを利用します (複数ページや複数種類のテンプレートは設定できません)。

※非定型帳票の全文の読み取りでは、テンプレートを利用しません。

## 7.2. タスク作成・実行

※1種類のテンプレートに対するタスクを作成することができます。





※読取容量は、  
500MB まで

- ① テンプレートを作成・保存後、テンプレート一覧画面で「**タスク作成**」をクリックして、タスクを作成する画面を表示します。

※個別のテンプレート作成画面で「**タスク作成**」をクリックすると、自動で当該テンプレートが選択されます (②③のテンプレートの選択は不要です)。

- ② 「+」をクリックして、新しいテンプレートを選択する画面を表示します。
- ③ 読取対象のテンプレートを選択します。

※読取対象のテンプレートをダブルクリック、または、読取対象のテンプレートを選択して「**選択**」をクリックすることで、テンプレートが選択されます。

※1種類のテンプレートを選択する場合は、定型帳票のテンプレート (1 ページ/複数ページ) 及び非定型帳票のテンプレートを選択できます。

※定型帳票のテンプレート (1 ページ) を選択した場合は、読取対象のテンプレートを追加することができます (7.3 参照)。

- ④ 当該テンプレートで読み取る画像ファイル群を指定します。

※読取画像ファイルの対応形式は、JPEG、PNG、PDF、TIFF、及びこれらの形式のファイルを複数圧縮した zip ファイルです。また、同じフォームの画像が複数ページあるファイルの読取も可能です（複数テンプレートを利用する場合には不可）。

- ⑤ 「タスク名」欄と「認識結果出力ファイル名」欄を入力し、必要に応じて「**確信度を出力**」や「**ヘッダーラベルを出力**」、「**行末にカンマを出力**」をチェックします。

※「**確信度を出力**」をチェックすると、出力結果に確信度が出力されます（3.5 参照）。  
※非定型読取では確信度は出力されません。  
※「**ヘッダーラベルを出力**」をチェックすると、出力結果にヘッダが出力されます。  
※「**行末にカンマを出力**」をチェックすると、出力結果の行末にカンマが出力されます。  
※複数テンプレートを選択している場合は、「**振分結果を確認する**」か「**振分結果の確認をスキップする**」を選択します（7.3 参照）。

- ⑥ 「読み取り開始」から、「**すぐに読み取り**」か「**あとで読み取り**」を選択します。

タスクで「**すぐに読み取り**」を選択した場合は、認識結果の確認を行います。

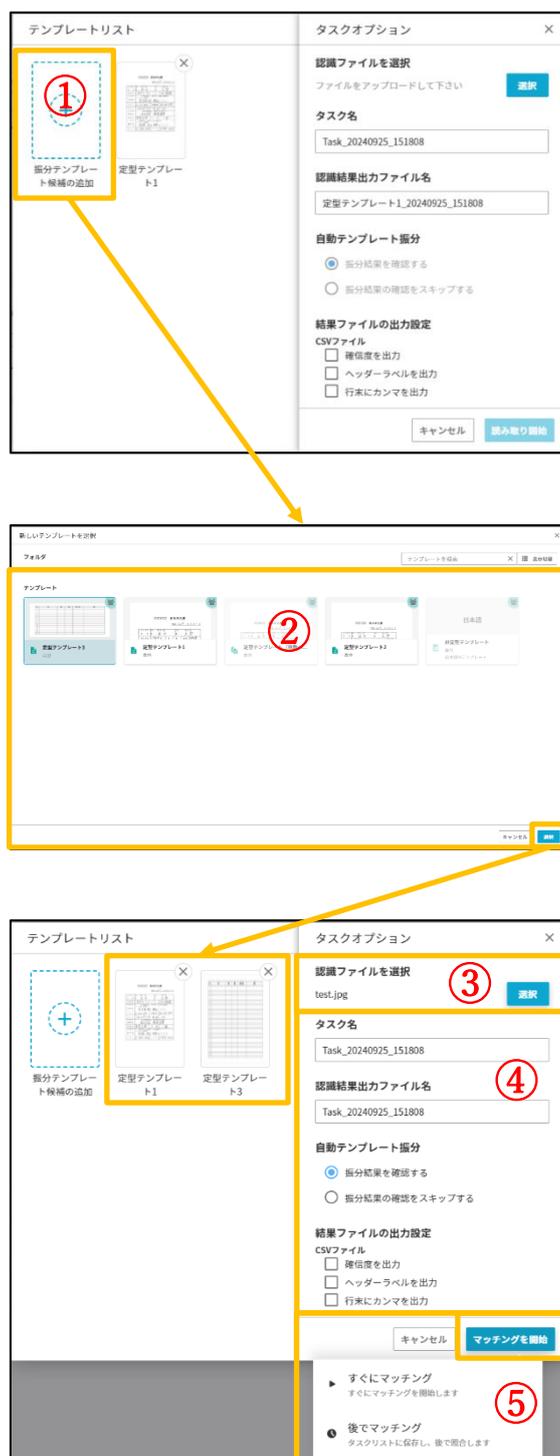
⇒認識結果の確認・補正へ（8）

タスクで「**あとで読み取り**」を選択した場合は、読み取りを行います。

⇒タスクの実行へ（7.5）

### 7.3. 複数テンプレートのタスク作成・実行

※定型帳票の複数のテンプレートを対象とする画像が読取画像に含まれる場合、複数のテンプレートに対するタスクを作成することができます（複数ページのテンプレート及び非定型のテンプレートは設定不可）。





- ① タスクを作成する画面の「+」をクリックして、「新しいテンプレートを選択」画面を開きます。

※複数ページのテンプレートは追加できません (6.20 参照)。  
 ※非定型のテンプレートは追加できません。

- ② 作成したテンプレートの一覧から追加するテンプレートを選択し、「**選択**」をクリックします (選択したテンプレートが追加されていることを確認します)。

※「**表示切替**」をクリックしてテンプレート一覧の表示内容を切り替えることで、複数のテンプレートを一度に選択することができます (チェックボックスで複数テンプレートを選択することができます)。

- ③ 当該テンプレートで読み取る画像ファイル群を指定します。

※読取画像ファイルの対応形式は、JPEG、PNG、PDF、TIFF、及びこれらの形式のファイルを複数圧縮した zip ファイルです。

- ④ 「タスク名」欄と「認識結果出力ファイル名」欄を入力し、「振分結果を確認する」か「振分結果の確認をスキップする」を選択します。必要に応じて「確信度を出力」や「ヘッダーラベルを出力」、「行末にカンマを出力」をチェックします。

※「振分結果を確認する」を選択した場合、読取画像の振分結果を確認してからタスクを実行します（⑥⑦⑧の振分結果の確認及びタスクの実行を行います）。

※「振分結果の確認をスキップする」を選択した場合、読取画像の振分結果の確認なしで読取画像ファイルに一致するテンプレートに基づいて読み取りが行われます（⑥⑦⑧の振分結果の確認及びタスクの実行は不要です）。

※「確信度を出力」をチェックすると、出力結果に確信度が出力されます。

※「ヘッダーラベルを出力」をチェックすると、出力結果にヘッダが出力されます。

※「行末にカンマを出力」をチェックすると、出力結果の行末にカンマが出力されます。

- ⑤ 「マッチングを開始」から、「すぐにマッチング」か「後でマッチング」を選択します。

※「後でマッチング」を選択した場合は、タスク一覧画面で当該のタスクをチェックし、「読み取り」を実行することでマッチングを行うことができます。

※「振分結果を確認する」を選択した場合は、読取画像の振分のみ行います（⑥⑦⑧の振分結果の確認及びタスクの実行を行います）。

※「振分結果の確認をスキップする」を選択した場合は、読取画像の振分と読取を行います（⑥⑦⑧の振分結果の確認及びタスクの実行は不要です）。

- ⑥ タスク一覧画面で読み取り状況が「マッチング完了」のタスクをシングルクリックして、「振分結果」画面を開きます。
- ⑦ 対象の読取画像を選択して、テンプレート画像（テンプレート）と読取画像（入力ファイル）のプレビュー表示で読取画像とテンプレートが一致していることを確認します。

※読取画像と一致するテンプレートがない場合は、「テンプレートのプレビュー」欄は空欄になります。

※テンプレートに一致した読取画像と一致していない読取画像のフィルタリングができます（次項：画像を確認する画面参照）。

※テンプレートが正しく設定されていない場合は、正しいテンプレートを選択できません（次項：画像を確認する画面参照）。

- ⑧ 読取画像とテンプレートが正しいことを確認後、「読み取り開始」から「すぐに読み取り」か「あとで読み取り」を選択します。

※「あとで読み取り」を選択した場合は、タスク一覧画面で当該のタスクをチェックし、「読み取り」を実行することで読み取りを行うことができます。

読み取りが完了したら、認識結果の確認を行います。

⇒認識結果の確認・補正へ (8)

タスクで「あとで読み取り」を選択した場合は、読み取りを行います。

⇒タスクの実行へ (7.5)

➤ 画像を確認する画面

※読取画像とテンプレートの一致／不一致を確認できます。



【読取画像のフィルタリング】

- ① 「振分されたファイル」をチェックすると、選択したテンプレートと一致した読取画像のみ表示します。
- ② 「振分されなかったファイル」をチェックすると、選択した全てのテンプレートと一致しない読取画像を表示します。

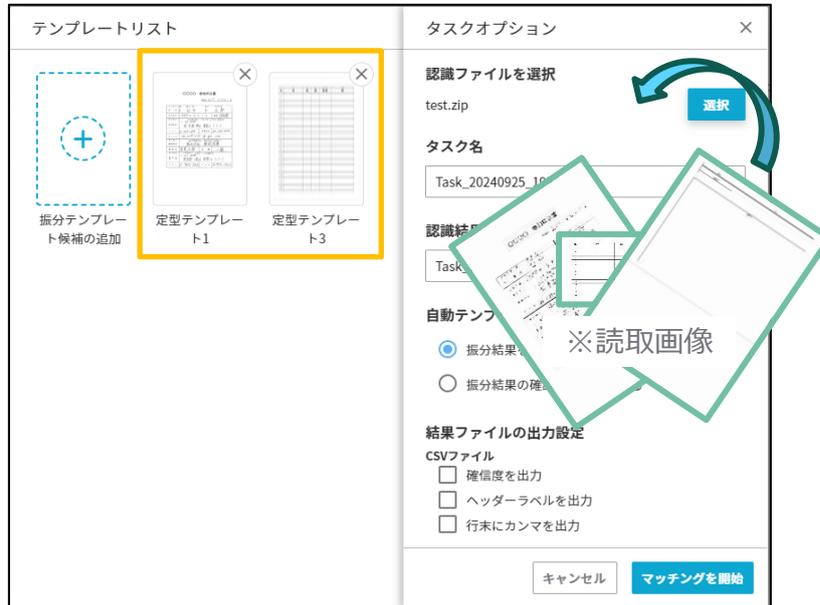
※①と②にチェックがないときは全ての読取画像を表示します。

【テンプレートの選択】

- ③  から読取画像に対するテンプレートを設定（変更）します。

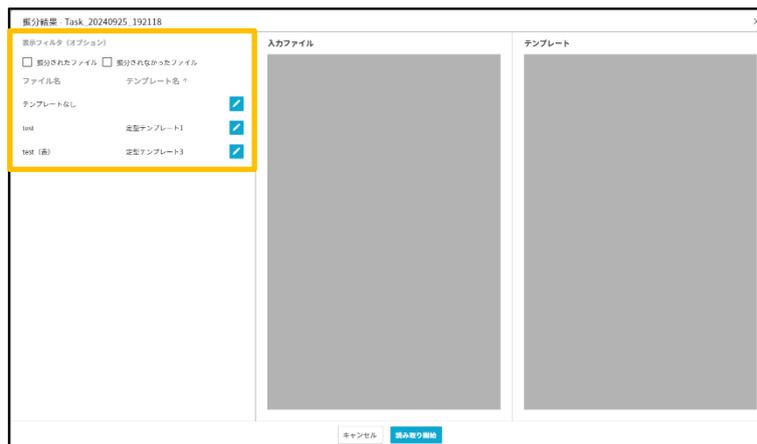
(例)

選択した複数テンプレートに一致しない読取画像を含んだファイルのマッチング



【マッチング完了後】

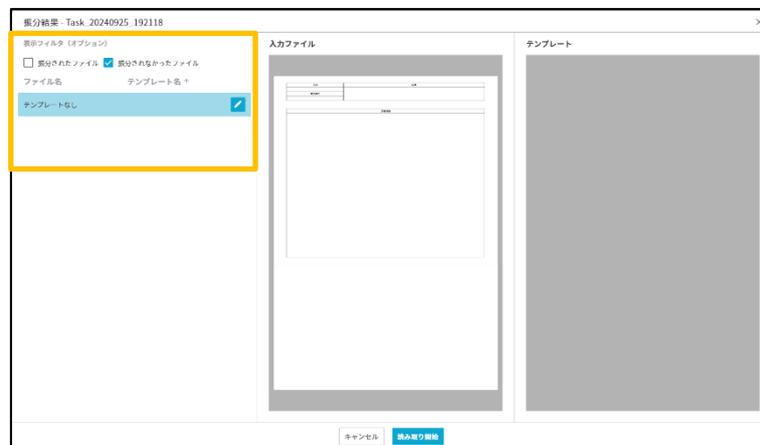
※「振分されたファイル」と「振分されなかったファイル」の両方にチェックがない場合は、全ての読取画像を表示します。



※「振分されたファイル」をチェックした場合は、選択したテンプレートと一致した読取画像のみ表示します。

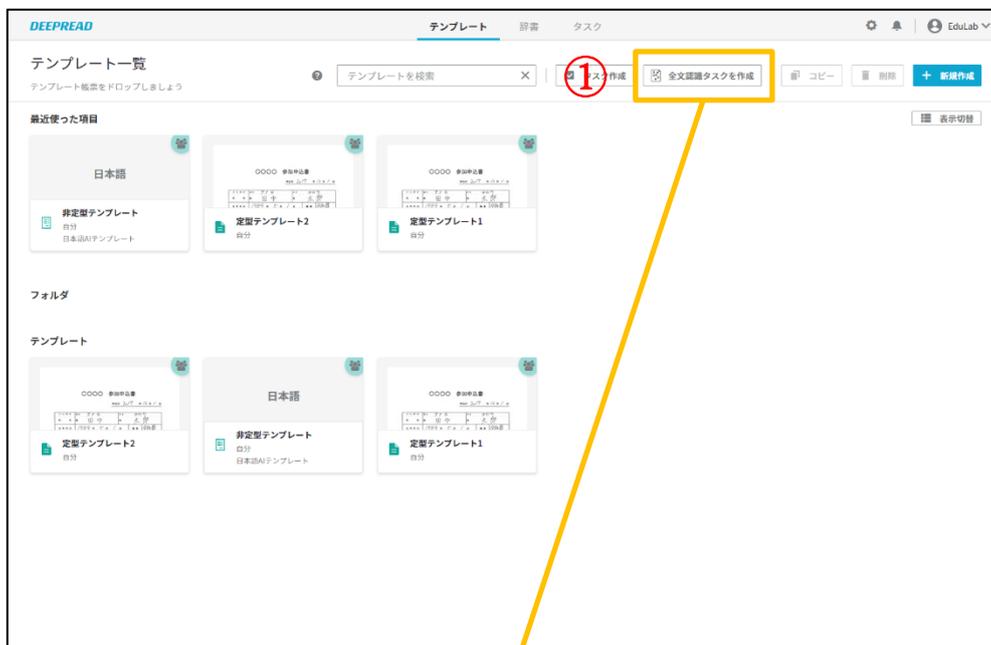


※「振分されなかったファイル」をチェックした場合は、選択した全てのテンプレートと一致しない読取画像を表示します。☑から読取画像に対するテンプレートを設定することができます。



#### 7.4. 全文読取のタスク作成・実行

※全文読取では、テンプレートを作成せずにタスクを作成・実行することができます（読取画像ファイル中の文字を読み取り出力します）。



全文認識タスクの対象ファイルを選択

**タスク名**  
Free\_Form\_Task\_XXXXXXXX\_XXXXXX ②

**出力ファイル出力**  
Free\_Form\_Task\_XXXXXXXX\_XXXXXX

**言語設定**  
日本語 ③

**出力タイプ**  
テキスト ④

**ファイルをアップロード**  
OCR処理が必要なファイルをアップロード ⑤  
[ファイルを選択] test.jpg

[キャンセル] [タスク作成]

▶ **すぐに読み取り**  
直ちに読み取りを開始します ⑥

① **あとで読み取り**  
今は読み取りせず、タスク一覧に保存します

- ① テンプレート一覧画面の「**全文認識タスクを作成**」をクリックして、タスクを作成する画面を表示します。

※全文読取では、テンプレートの設定は不要です。

- ② 「**タスク名**」欄と「**出力ファイル**」欄を入力します。  
③ 読み取る言語を「**言語設定**」で選択します。

選択項目

- ・日本語
- ・英語

- ④ 出力する結果ファイルの形式を「**出力タイプ**」で選択します。

選択項目

テキスト	読取結果を JOSN、XML、CSV 形式で出力
PDF 上のテキスト	読取結果を検索可能な PDF 形式で出力

※「**テキスト**」を選択した場合は、結果ファイルを出力するときに出力するファイルの形式 (JSON/XML/CSV) を選択します。

- ⑤ 読み取る画像ファイル群を指定します。

※読取画像ファイルの対応形式は、JPEG、PNG、PDF、TIFF、及びこれらの形式のファイルを複数圧縮した zip ファイルです。また、複数ページあるファイルの読取も可能です。

- ⑥ 「**タスク作成**」から、「**すぐに読み取り**」か「**あとで読み取り**」を選択します。

※「**あとで読み取り**」を選択した場合は、タスク一覧画面で当該のタスクをチェックし、「**読み取り**」を実行することで読み取りを行うことができます。

タスクで「**すぐに読み取り**」を選択した場合は、認識結果の確認を行います。

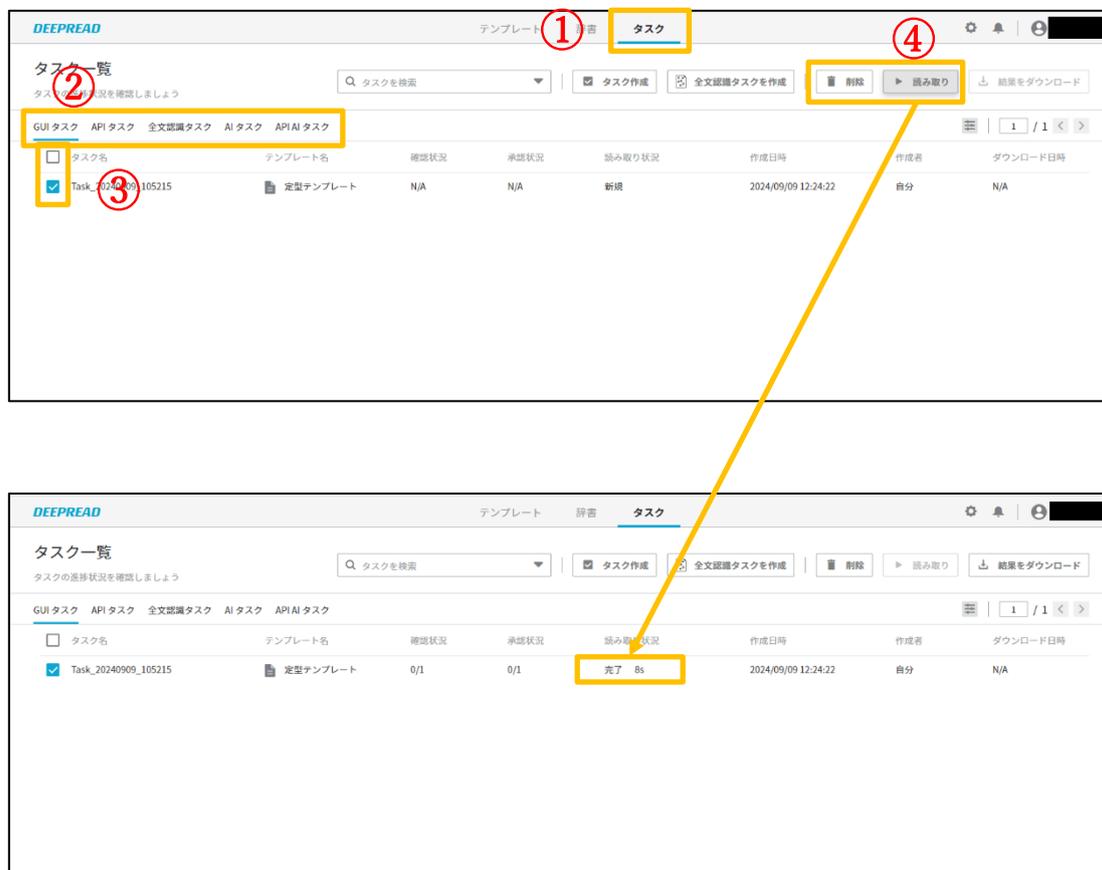
⇒認識結果の確認・補正へ (8)

タスクで「**あとで読み取り**」を選択した場合は、読み取りを行います。

⇒タスクの実行へ (7.5)

## 7.5. タスクの実行

※タスク一覧から作成したタスクの読み取りを実行します。



- ① タスクを作成後「タスク」をクリックして、タスク一覧画面に遷移します。
- ② 読み取りを実行するタスクを含むタスクの種類を選択します。

### 選択項目

GUI タスク ※1	画面を利用した定型帳票のタスク
API タスク ※1	API を利用した定型帳票のタスク
全文認識タスク ※2	画面を利用した非定型帳票（全文）のタスク
AI タスク ※3	画面を利用した非定型帳票（キーワード項目）のタスク
API AI タスク ※3	API を利用した非定型帳票（キーワード項目）のタスク

- ※1 DEEP READ 利用者全員に表示されます。
- ※2 全文読取をご利用の場合に表示されます。
- ※3 非定型読取をご利用の場合に表示されます。

- ③ 読み取りをするタスクをチェックします（「タスク名」左横のチェック欄にチェックすることで、一括でチェックすることもできます）。
- ④ 「読み取り」をクリックしてチェックしたタスクの読み取りを開始し、読み取り状況の「完了」を確認します。

※「削除」でチェックしたタスクを削除することができます。

※複数テンプレートのタスク作成で「後でマッチング」を選択した場合は、「読み取り」をクリックするとマッチングが実行されます（タスク作成時に「画像を確認する」を選択した場合はマッチングのみが実行され、「確認をスキップ」を選択した場合は、読取画像ファイルに一致するテンプレートに基づいて読み取りが行われます）。

読み取りが完了したら、認識結果の確認を行います。

⇒認識結果の確認・補正へ（8）

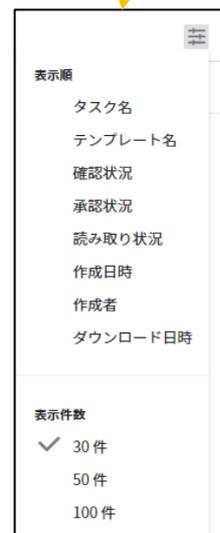
➤ タスク一覧画面

※タスクの検索、表示順・表示件数の変更ができます。



※タスクの検索ができます。

※タスクの表示順・表示件数の変更ができます。



① 「タスクを検索」の「▼」からタスクの検索画面を表示して、表示されている項目からタスクを検索します。

② ≡から表示順・表示件数の設定画面を表示して、表示されている項目からタスクの表示順・表示件数を設定します。

## 8. 認識結果の確認・補正

### 8.1. 読取画像

以下の読み取りに対する認識結果の確認・補正ができます。

定型帳票	1種類（1ページ）のテンプレートを利用した読取
	1種類（複数ページ）のテンプレートを利用した読取
	複数種類（1ページ）のテンプレートを利用した読取
非定型帳票	1種類（1ページ）のテンプレートを利用した読取 （キーワード項目の読み取り）

※読み取り内容による認識結果の確認・補正方法は以下をご参照ください。

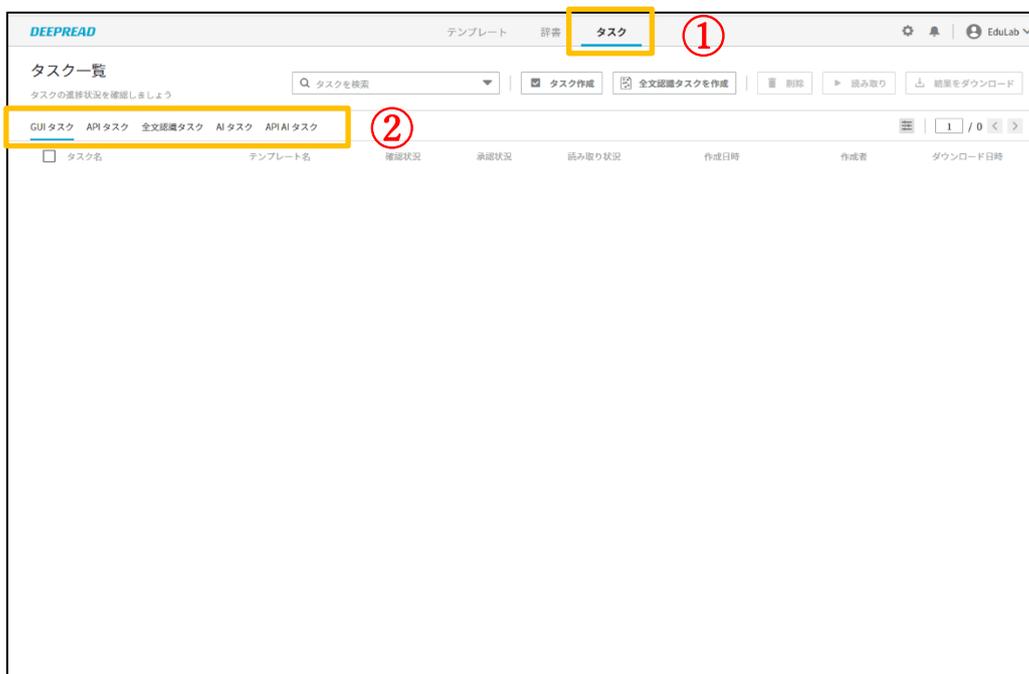
読取内容	認識結果の 確認・補正
1種類（1ページ）のテンプレートを利用した認識結果の確認・補正 （定型帳票：1ページ、非定型帳票：キーワード項目）	8.3 参照
1種類（複数ページ）のテンプレートを利用した認識結果の確認・補正 （定型帳票：複数ページ）	8.5 参照
複数種類（1ページ）のテンプレートを利用した認識結果の確認・補正 （定型帳票：複数種類）	8.4 参照

※非定型帳票のキーワード項目の読み取りでは、1種類（1ページ）のテンプレートを利用  
します（複数ページや複数種類のテンプレートは設定できません）。

※非定型帳票の全文の読み取りでは、画面を利用した認識結果の確認・補正はできません  
（出力結果のダウンロードは可能です）。

## 8.2. タスク一覧

※タスク一覧画面で定型帳票の結果と非定型帳票の結果を選択することで、それぞれの認識結果の確認・補正ができます。



- ① 操作画面の「タスク」をクリックし、タスク一覧画面を表示します。
- ② 確認・補正する結果を含むタスクの種類を選択します。

### 選択項目

GUI タスク ※1	画面を利用した定型帳票のタスク
API タスク ※1	API を利用した定型帳票のタスク
全文認識タスク ※2	画面を利用した非定型帳票（全文）のタスク
AI タスク ※3	画面を利用した非定型帳票（キーワード項目）のタスク
API AI タスク ※3	API を利用した非定型帳票（キーワード項目）のタスク

- ※1 DEEP READ 利用者全員に表示されます。
- ※2 全文読取をご利用の場合に表示されます。
- ※3 非定型読取をご利用の場合に表示されます。

### 8.3. 読取結果の確認・補正

※1 種類（1 ページ）のテンプレートを利用した定型帳票と非定型帳票の読み取りの結果を確認・補正することができます（タスクの種類は、8.2 参照）。



※タスクをダブルクリック



※画像をダブルクリック



- ① タスク一覧画面で確認したいタスクをダブルクリックして、当該タスクに関連する画像一覧画面を表示します。
- ② 画像一覧画面で確認したい画像をダブルクリックして、当該画像に関連する読取結果を表示します。
- ③ 読取結果の確認画面で読取結果を確認・修正後、「承認」(承認モードの場合)をクリックして当該の読取結果を確定します。

※確認・承認モードの場合の確認時は、「確認」をクリックして読取結果を確定します  
(次項：ワークフロー選択参照)。

※確認項目を表示する条件を変更することができます (8.6 参照)。

- ④ 「<前の書類>」「次の書類」で、②の画像一覧の前の画像/次の画像に移動します。

※読取画像に対して 1 画像毎に読取結果の修正・確認・承認を行います。

※複数テンプレートの設定をしている場合も 1 画像毎に読取結果の修正・確認・承認を行います (8.4 参照)。

※補正した項目は、ダウンロードする出力結果に反映されます。

※「<前の閾値ドキュメント>」「次の閾値ドキュメント」は、テンプレート設定時に確信度の閾値を設定している場合に表示されます (6.24、8.6 参照)。

認識結果を確認したら、結果を出力する。

⇒出力結果のダウンロード (9)

➤ ワークフロー選択

※「確認・承認」と「承認」のワークフローを選択できます。

【①確認・承認モード】



【②承認モード】



➤ ショートカットキー操作

※ショートカットキーの利用によりキーボードでの効率的な補正・確認操作ができます。

この読み取り結果確認画面では以下のショートカットが割り当てられています。

	<b>エンターキーで決定</b> エンターキーを押すと「承認済み」や「確認済み」にできます
	<b>上下のリスト移動</b>
	↑↓キーで読み取り結果リストを上下に移動することができます

➤ 2画面表示

帳票全体の表示、修正画面を同時に2画面に表示して効率的な補正作業ができます。



#### 8.4. 複数テンプレートの読取結果の確認・補正

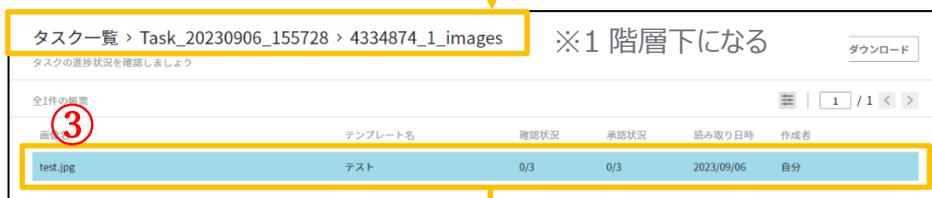
※複数種類（1 ページ）のテンプレートを利用した定型帳票の読み取りの結果を確認・補正することができます（タスクの種類は、8.2 参照）。



※タスクをダブルクリック



※テンプレートをダブルクリック



※画像をダブルクリック



- ① タスク一覧画面で確認したいタスクをダブルクリックして、当該タスクに関連するテンプレート一覧画面を表示します。
- ② テンプレート一覧画面で確認したいテンプレートをダブルクリックして、当該テンプレートに関連する画像一覧画面を表示します。
- ③ 画像一覧画面で確認したい画像をダブルクリックして、当該画像に関連する読取結果を表示します。
- ④ 読取結果の確認画面で読取結果を確認・修正後、「承認」(承認モードの場合)をクリックして当該の読取結果を確定します。

※確認・承認モードの場合の確認時は、「確認」をクリックして読取結果を確定します  
(前項：ワークフロー選択参照)。  
※確認項目を表示する条件を変更することができます (8.6 参照)。

- ⑤ 「<前の書類>」「次の書類」で、③の画像一覧の前の画像/次の画像に移動します。

※読取画像に対して1画像毎に読取結果の修正・確認・承認を行います。  
※補正した項目は、ダウンロードする出力結果に反映されます。  
※「<前の閾値ドキュメント>」「次の閾値ドキュメント」は、テンプレート設定時に確信度の閾値を設定している場合に表示されます (6.24、8.6 参照)。

認識結果を確認したら、結果を出力する。

⇒出力結果のダウンロード (9)

## 8.5. 複数ページの読取結果の確認・補正

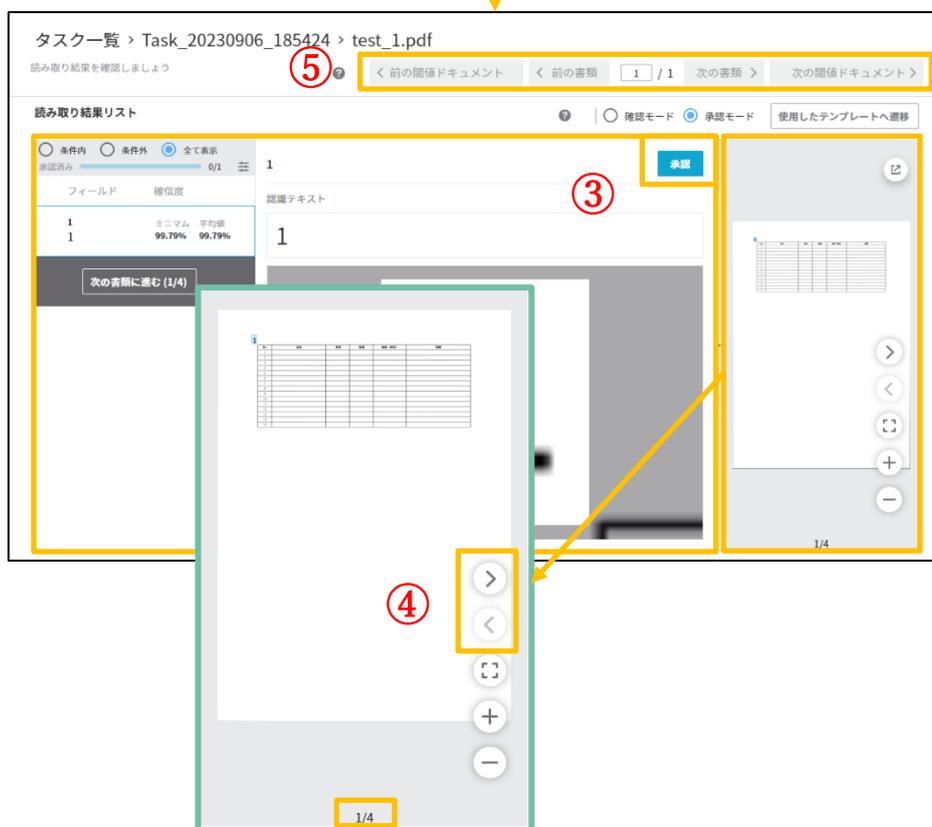
※1 種類（複数ページ）のテンプレートを利用した定型帳票の読み取りの結果を確認・補正することができます（タスクの種類は、8.2 参照）。



※タスクをダブルクリック



※画像をダブルクリック



- ① タスク一覧画面で確認したいタスクをダブルクリックして、当該タスクに関連する画像一覧画面を表示します。
- ② 画像一覧画面で確認したい画像をダブルクリックして、当該画像に関連する読取結果を表示します。
- ③ 読取結果の確認画面で読取結果を確認・修正後、「承認」(承認モードの場合)をクリックして当該の読取結果を確定します。

※確認・承認モードの場合の確認時は、「確認」をクリックして読取結果を確定します  
(前項：ワークフロー選択参照)。

※確認項目を表示する条件を変更することができます (8.6 参照)。

- ④ 「>」(次頁)、「<」(前頁) でページを移動して、各ページに必要な確認・修正を行います。
- ⑤ 「<前の書類>」、「次の書類>」で、②の画像一覧の前の画像/次の画像に移動します。

※読取画像に対して1画像毎に読取結果の修正・確認・承認を行います。

※補正した項目は、ダウンロードする出力結果に反映されます。

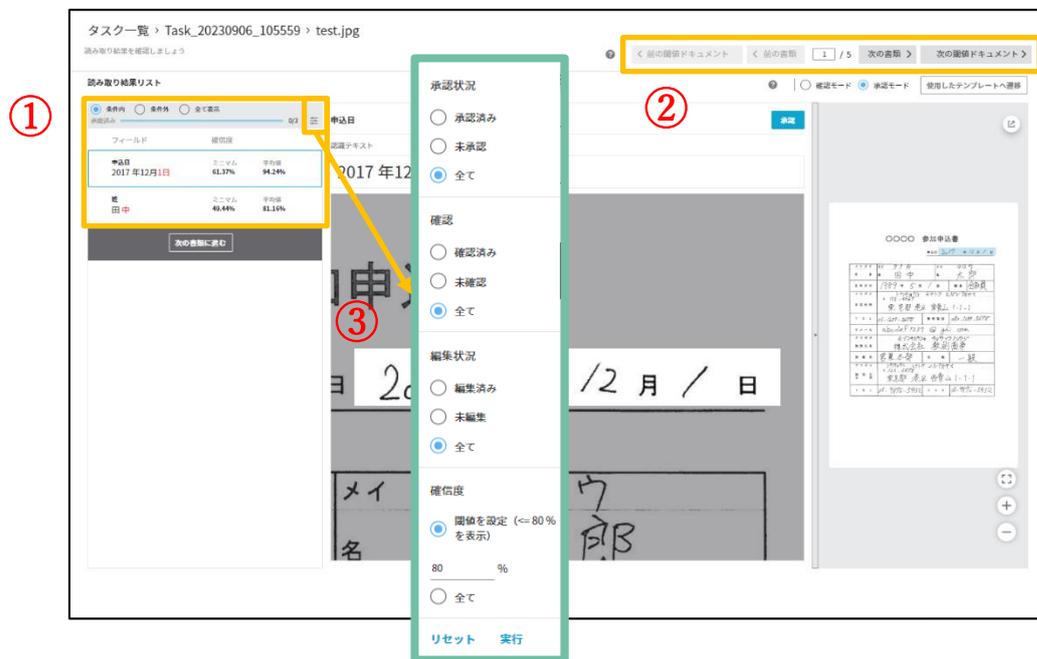
※「<前の閾値ドキュメント>」、「次の閾値ドキュメント>」は、テンプレート設定時に確信度の閾値を設定している場合に表示されます (6.24、8.6 参照)。

認識結果を確認したら、結果を出力する。

⇒出力結果のダウンロード (9)

## 8.6. 読取結果の表示変更

※読取結果の確認画面で読取結果の表示内容の変更ができます。



① 確信度の閾値に基づいて読取結果を表示する条件を選択します。

### 選択項目

条件内	項目の最小の確信度 ≤ 確信度の閾値の項目を表示
条件外	項目の最小の確信度 > 確信度の閾値の項目を表示
全て表示	読取項目の全てを表示

※テンプレート設定時に確信度の閾値（初期値）を設定している場合に選択できます（6.24 参照）。初期値を設定していない場合は、「全て表示」となります。  
 ※テンプレート設定時の確信度の閾値（初期値）は変更できません（6.24 参照）。

② 「<前の閾値ドキュメント>」、「次の閾値ドキュメント>」で、確信度の閾値の条件に一致する項目が存在する画像一覧の順に前の画像／次の画像に移動します。

※「<前の閾値ドキュメント>」、「次の閾値ドキュメント>」は、確信度の閾値を設定している場合に表示されます（6.24 参照）。  
 ※「<前の書類>」、「次の書類>」は、画像一覧の前の画像／次の画像に移動します。

- ③  で読取結果を表示する条件を選択し、「実行」をクリックします。

選択項目

承認状況	承認済み／未承認／全て
確認	確認済み／未確認／全て
編集状況	編集済み／未編集／全て
確信度	閾値を設定（<=xx%を表示）／全て ※本画面上でのみ有効な一時的な確信度の閾値（「0%～100%」）を設定します。確信度の閾値の初期値は変更できません。

※「リセット」：全ての選択項目を、「全て」（確信度は100%）に変更します。

## 9. 出力結果のダウンロード

### 9.1. 読取画像

以下の読み取りに対する出力結果の出力ができます。

定型帳票	1 種類 (1 ページ) のテンプレートを利用した読取
	1 種類 (複数ページ) のテンプレートを利用した読取
	複数種類 (1 ページ) のテンプレートを利用した読取
非定型帳票	1 種類 (1 ページ) のテンプレートを利用した読取 (キーワード項目の読み取り)
	全文の読み取り (テンプレート不要)

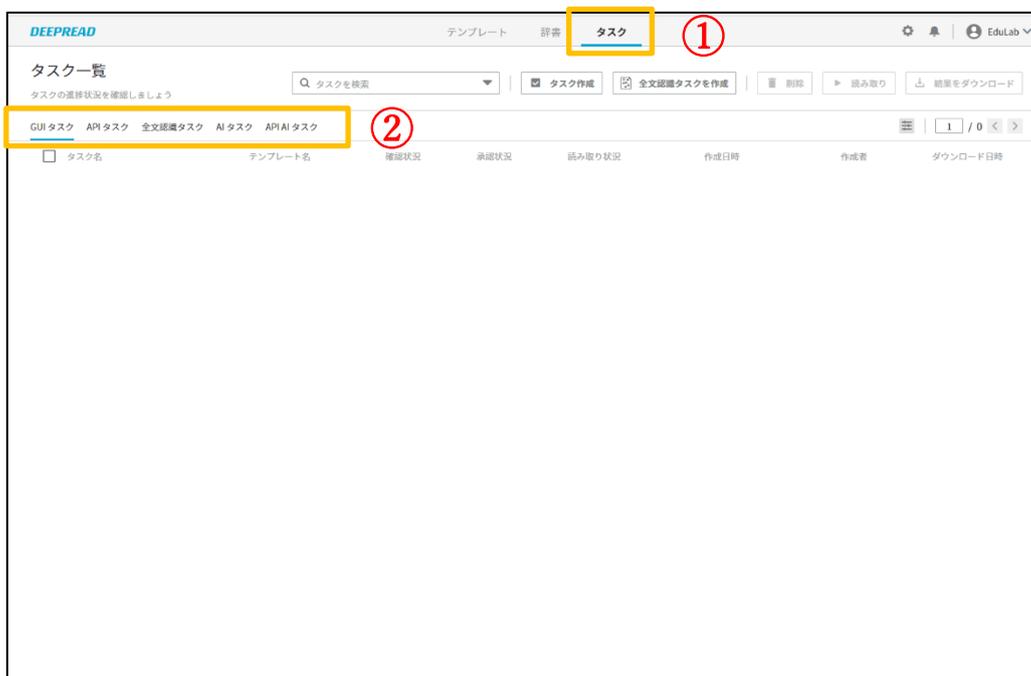
※読み取り内容による認識結果の確認・補正方法は以下をご参照ください。

読取内容	認識結果の ダウンロード
1 種類のテンプレートを利用した認識結果のダウンロード (定型帳票：1 ページ/複数ページ、非定型帳票：キーワード項目)	9.3 参照
複数種類のテンプレートを利用した認識結果のダウンロード (定型帳票：複数種類)	9.4 参照
全文の認識結果のダウンロード (非定型帳票：全文)	9.5 参照

※非定型帳票のキーワード項目の読み取りでは、1 種類 (1 ページ) のテンプレートを利用します (複数ページや複数種類のテンプレートは設定できません)。

## 9.2. タスク一覧

※タスク一覧画面で定型帳票の結果と非定型帳票の結果を選択することで、それぞれの認識結果のダウンロードができます。



- ① 操作画面の「タスク」をクリックし、タスク一覧画面を表示します。
- ② ダウンロードする結果を含むタスクの種類を選択します。

### 選択項目

GUI タスク ※1	画面を利用した定型帳票のタスク
API タスク ※1	API を利用した定型帳票のタスク
全文認識タスク ※2	画面を利用した非定型帳票（全文）のタスク
AI タスク ※3	画面を利用した非定型帳票（キーワード項目）のタスク
API AI タスク ※3	API を利用した非定型帳票（キーワード項目）のタスク

- ※1 DEEP READ 利用者全員に表示されます。
- ※2 全文読取をご利用の場合に表示されます。
- ※3 非定型読取をご利用の場合に表示されます。

### 9.3. 読取結果の出力

※1 種類のテンプレートを利用した定型帳票（1 ページ／複数ページ）と非定型帳票（1 ページ）の読み取りの結果をダウンロードすることができます（タスクの種類は、9.2 参照）。



#### 【出力ファイル】

ファイル名	申込日	確信度(申込日)
test.jpg	2017 年12月1日	0.999...,0.980...,0.996...,0.997...,0.821...,1.000...,0.987...,0.999...,0.988...,0.989...,0.799...

- ① タスク一覧画面で結果を出力するタスクの読み取り状況が「完了」であることを確認し、当該タスクのチェック欄をチェックします（複数のタスクをチェックすることもできます）。

※複数タスクを選択した場合は ZIP ファイルで出力されます。  
※「タスク名」左横のチェック欄にチェックすることで、全てのタスクを一括でチェックすることもできます。

- ② 「結果をダウンロード」をクリックして、結果ファイルをダウンロードします。

※タスクの作成時に「ヘッダーラベルを出力」をチェックすると、1 行目にヘッダ（項目名）が出力されます。  
※タスクの作成時に「確信度を出力」をチェックすると、1 文字ごとの確信度が出力されます（確信度については、3.5 参照）。  
(例)  
「ヘッダーラベルを出力」と「確信度を出力」をチェックしていない場合

test.jpg	2017 年12月1日
----------	-------------

出力結果に修正が必要な場合は、出力結果の修正を行います。

⇒認識結果の確認・補正へ (8)

### ➤ タスク詳細画面

※タスクの詳細画面から出力結果をダウンロードすることができます。



※タスクをシングルクリック



- ① タスク一覧画面で出力したいタスクをシングルクリックして、当該タスクの詳細画面を開きます。
- ②  から「認識結果をダウンロード」で出力結果をダウンロードします（「元ファイルをダウンロード」で読取画像をダウンロードできます）。

※タスクの詳細画面で以下の操作ができます。

- ・「書き出し名称」、「確信度を出力」、「ヘッダーラベルを出力」の変更及び設定の保存
- ・  でタスクの削除
- ・「詳細確認」から認識結果の確認・補正（8 参照）

### ➤ 複数ページの読取結果

※複数ページの読取結果についても読取画像ファイル単位に結果が出力されます（1 行に 1 画像の読取結果が出力されます）。

#### 【出力ファイル】

ファイル名	1ページ	確信度(1ページ)	2ページ	確信度(2ページ)	3ページ	確信度(3ページ)	4ページ	確信度(4ページ)
test.pdf	1	0.997293205	2	0.99910802371364071,0.56939184658649711	3	0.999462849	4	0.999386873

#### 9.4. 複数テンプレートの読取結果の出力

※複数種類のテンプレートを利用した定型帳票の読み取りの結果をダウンロードすることができます（タスクの種類は、9.2 参照）。



※テンプレート単位に出力

##### 【出力ファイル 1】

ファイル名	申込日	確信度(申込日)
test.jpg	2017年12月1日	0.999...,0.980...,0.996...,0.997...,0.821...,1.000...,0.987...,0.999...,0.988...,0.989...,0.799...

##### 【出力ファイル 2】

ファイル名	品名1	確信度(品名1)	単価1	確信度(単価1)	数量1	確信度(数量1)	金額1	確信度(金額1)	摘要1	確信度(摘要1)	品名2	確信度(品名2)
test (表).jpg	あいうえお	0.999...,0.999...	100	0.999...,0.999...	1	0.997...	100	0.999...,0.999...	AAA	0.999...,0.997...	かきくけこ	0.999...,0.999...

##### 【出力ファイル 3】

※テンプレートに一致しない読取の出力

test2.jpg	
-----------	--

ファイル名 : xxxxxx\_unmatch\_images\_0.csv  
(xxxxxx はランダムな数字)

- ① タスク一覧画面で結果を出力するタスクの読み取り状況が「完了」であることを確認し、当該タスクのチェック欄をチェックします（複数のタスクをチェックすることもできます）。

※複数タスクを選択した場合は ZIP ファイルで出力されます。  
 ※「タスク名」左横のチェック欄にチェックすることで、全てのタスクを一括でチェックすることもできます。

- ② 「結果をダウンロード」をクリックして、結果ファイルをダウンロードします。

※テンプレート単位の出力結果ファイルをまとめた zip ファイルで出力されます。  
※タスクの作成時に「**ヘッダーラベルを出力**」をチェックすると、1 行目にヘッダ（項目名）が出力されます。

※タスクの作成時に「**確信度を出力**」をチェックすると、1 文字ごとの確信度が出力されます（確信度については、3.5 参照）。

（例）

「**ヘッダーラベルを出力**」と「**確信度を出力**」をチェックしていない場合

test.jpg	2017 年12月1日
----------	-------------

※テンプレートに一致しない読取帳票の読取結果についてはファイル名のみが出力されます。

出力結果に修正が必要な場合は、出力結果の修正を行います。

⇒認識結果の確認・補正へ（8）

## 9.5. 全文の読取結果の出力

※全文の読み取りの結果をダウンロードすることができます(タスクの種類は、9.2 参照)。

- ✓ タスク作成時に「テキスト」を選択：JSON、XML、CSV形式で出力可能
- ✓ タスク作成時に「PDF上のテキスト」を選択：検索可能なPDF形式で出力可能



※タスクをシングルクリック



- ① タスク一覧画面で結果を出力するタスクの読み取り状況が「完了」であることを確認し、当該タスクをシングルクリックして詳細画面を開きます。

※出力するタスクをチェックし「結果をダウンロード」をクリックすることで、結果をダウンロードすることはできません。

- ② 必要に応じて出力ファイル名を変更します。

※出力ファイル名を変更すると「保存」が表示されるので、「保存」をクリックすることでファイル名を確定します。

- ③ タスク作成の出力ファイルの形式で「テキスト」を選択した場合は、出力するファイルの形式を選択します（7.4 参照）。

選択項目

- ・ JSON
- ・ XML
- ・ CSV

※タスク作成の出力ファイルの形式で「PDF 上のテキスト」を選択した場合は、出力するファイルの形式は選択できません。

(例)

タスク作成時に出力ファイルの形式で「PDF 上のテキスト」を選択した場合



- ④  から「認識結果をダウンロード」で出力結果をダウンロードします（「元ファイルをダウンロード」で読取画像をダウンロードできます）。



## 10.2. 各種設定方法

※言語設定やユーザ設定ができます。



① から以下を設定します。

### 設定項目

言語設定	表示言語：日本語／英語（English）を選択できます。
管理者権限（※）	以下の操作ができます。
ユーザー管理	アクセスできるユーザの追加、削除ができます。
API トークン	API トークン情報の確認ができます。
IP アドレス接続管理	接続を許可する IP アドレスの設定ができます。
ご利用状況	認識項目数の情報を確認、ダウンロードできます。 （例：GUI/API など）
DeepRead FAQ	主な FAQ を確認できます。

※管理者のみ確認・設定が可能です。

② からユーザ情報の変更、または、ログアウトします。

### 設定項目

プロフィール編集	ユーザの設定情報を変更できます。 （例：ユーザ名、ID、パスワード、パスワードポリシー）
ログアウト	ログアウトできます。

➤ ユーザー管理方法

※「管理者権限」の「ユーザー管理」でユーザの追加、変更、削除ができます。

【ユーザの追加】



① ユーザー管理画面の「+新規ユーザー」から「新規ユーザーを追加」画面を開きます。

② 必要情報を入力後「追加」をクリックしてユーザーを追加します。

※「権限」は、「一般」、「パワーユーザ」、「管理者」から選択します。

※設定したメールアドレスに登録完了メールが届きます。

## 【ユーザの変更】

役割 ↑	作成日時
管理者	2019/12/04
パワーユーザ	2021/01/07

②

編集

パスワードを変更する

無効

①

③

ユーザーの編集

名前 (必須)

test1

メールアドレス (必須)

test1@deepread.jp

電話番号

電話番号を入力

権限

パワーユーザ

キャンセル 保存

パスワードを変更する

新しいパスワード

新しいパスワード(確認用)

キャンセル 保存

- ① ユーザー管理画面の変更したいユーザ名右側の「…」から選択項目を表示します。
- ② ①の「編集」から「ユーザーの編集」画面を開き、必要情報を変更後「保存」をクリックしてユーザー情報を変更します。

※「権限」は、「一般」、「パワーユーザ」、「管理者」から選択します。

- ③ ①の「パスワードを変更する」から「パスワードを変更する」画面を開き、新しいパスワードを入力後「保存」をクリックしてパスワードを変更します。

### 【ユーザの削除】



- ① ユーザー管理画面の変更したいユーザ名右側の「…」から選択項目を表示します。
- ② 「無効」から「ユーザーを無効にする」画面を開き（※）、「OK」をクリックしてユーザーを削除します。

※無効にするユーザーが所有するテンプレートの新しい作成者を選択します。

### 10.3. 主なボタンの機能

No.	ボタン名	機能
1	フォルダ作成	フォルダを作成します
2	テンプレート追加	作成したフォームにテンプレートを作成します
3	タスク作成	テンプレート毎にタスクを作成します
4	新しいテンプレート	選択したフォームに新しいテンプレートを作成します
5	テンプレート削除	選択したテンプレートを削除します
6	コピー	選択したテンプレートのコピーを作成します
7	新しいタスク	選択したテンプレートに新しいタスクを作成します
8	タスク実行	作成したタスクを実行します
9	フォルダ一覧	作成したフォルダを表示します
10	タスク一覧	作成したタスクを表示します
11	詳細	選択した項目の詳細情報を表示します
12	編集	選択した項目の編集画面に遷移します
13	メタデータをエクスポート	テンプレート設定ファイルをダウンロードします
14	メタデータをインポート	テンプレート設定ファイルを対象画像に適用します